业 通 道 議 会 時 報

平成5年第4回定例会



北海道議会事務局

北海道議会時報第45巻第4号(平成5年第4回定例会)

(表紙写真)

旧札幌警察署南一条巡査派出所

(北海道開拓の村・札幌市厚別区厚別町小野幌50)

明治18年(1885)、札幌創成橋の脇に最初に建てられた交番は木造で、 札幌創成橋交番所と呼ばれていた。同じ木造で一度改築されたが、そ の後個人の篤志寄付で建てかえられたのがこの建物である。

壁のレンガは、小口面と長手面を交互に表わして積むイギリス積みを用いている。

- ●旧所在地 札幌市中央区南1条西1丁目創成川縁
- ●建築年代 明治44年 (1911)
- ●面 積 7.50坪 (24.82㎡)
- ●構 造 レンガ造平屋建
- ●寄贈者 北海道警察本部
- ●収集年 → 復元年 昭和46年 (1971) → 53年 (1978)

北海道議会時報第45巻第4号(平成5年第4回定例会)

..... もくじ.....

第	4	回	定	例	会									
		概				要				• • • • •				1
		本		会		議			• • • •	••••				2
		提	出	. 9	案	件				· · · ·		••••		10
		決				議								12
		意		見		書				••••			•••••	13
		請	願	•	陳	情				••••	• • • •		• • • • • •	17
委	員	숲	の	動	き									
		議	会選	[営	委員	会								18
		常	任	委	員	会			• • • •	••••	••••	• • • •		21
		特	別	委	員	会	••••	• • • •	• • •		••••	• • • •	• • • • • •	26
				総合	分開	発調	查特	别有	委員	会				
				石族	足対	策特	別委	員:	숲					
				北	方領	土丸	策特	別	委員	会				
				交迫	重安	全太	策特	别	委員	会				
				過	東地	域抜	興対	策	寺別	委员	1会			
				冷	喜対	策特	別委	員:	会					
				予	算	料	F 別	} :	委	員	会	••••		. 29
資					料	ł								
		平	成 5	5年	提出	出案	件の)議	決	状涉	· 5			33
		平	成:	5 年	請原	顏、	陳情	青の	審	查》	火況	••		33
		平	成:	5年	議員	負提	出多	を件	-O)	件名	公及	び		
			議	夬結	果-	一覧	į				••••	• • • •		- 34
		平	成	5 年	請願	額、	陳情	青の	件	名及	えび			
			審了	查経	過-	一覧	į		· • • •		••••			• 3

11・12月のメモ

注 決算特別委員会 (審査終了後一括掲載)

議会日誌

▶10月

14日(木) 農政委員会

27日(水) 文教委員会

▶11月

8日(月) 冷害対策特別委員会

9日(火) 各常任委員会

10日(水) 総合開発調査特別、石炭対策特別、 北方領土対策特別、交通安全対策特別、過疎地域振興対策特別各委員会

24日(水) 議会運営委員会

30日(水) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、交通安全対策特別、冷害対策特別を委員会

▶12月

1日(水) (第4回定例会開会)

議会運営委員会

本会議 (会期決定<10日間>、提案説明、

意見案1件可決)

3日(金) 議会運営委員会

本会議 (代表質問<1人>)

6日(月) 議会運営委員会

本会議 (代表質問<2人>)

7日(火) 議会運営委員会

本会議 (代表質問<1人>、決議案1件 可決及び意見案1件可決、追加提案説明)

8日(水) 議会運営委員会

本会議 (一般質問<9人>、予算及び決

算特別委員会設置)

予算特別委員会(正副委員長の互選、2

分科会設置)

予算第1·第2各分科会(正副委員長

の互選)

決算特別委員会(正副委員長の互選)

9日(木) 予算第1・第2各分科会(各部所管審

査)

予算特別委員会(総括質疑)

10日金 議会運営委員会

予算特別委員会(意見調整、議案等可決)

各常任、総合開発調査特別、交通安全対策特別、決算特別各委員会本会議 (各委員長報告、補正予算等可決、決議案 2 件可決及び意見案 3 件可決) (第 4 回定例会閉会)

北海道議会時報第45巻第4号(平成5年第4回定例会)

第4回定例会

冷害対策・景気対策費等総額539億円余の補正予算可決

▶農畜産物の市場開放阻止に関する決議案及び意見案可決◀

概 要

- ① 平成5年度各会計補正予算等を審議する第4回定例会は、12月1日招集され、会期を12月10日まで の10日間と決定した後、平成5年度各会計補正予算などの議案等15件が上程され、知事から提案説明。 次に、地方税財源の確保に関する意見案を原案可決し、議案調査のため12月2日は休会した。
- ② 12月3日から代表質問に入り、7日に終結。同日、道職員の給与改定等にかかわる補正予算などの議案が追加提案され、知事から提案説明があり、引き続き農畜産物の市場開放阻止に関する決議案及び 農畜産物の市場開放阻止に関する意見案を原案可決した。
- ③ 12月8日から一般質問に入り、同日一般質問を終結。直ちに予算特別委員会及び決算特別委員会を 設置、議案等を各委員会に付託し、各委員会付託議案審査のため、12月9日は休会した。
- ④ 予算特別委員会は、12月8日に正副委員長の互選を行い、2分科会を設置の上、翌9日から各部所 管の審査を行い、各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行った。10日は、意見調整を行っ た後、付託案件をいずれも原案可決。
- ⑤ 会期最終日の12月10日は、付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも**原案** 可決。

次に、父母負担の軽減を図り私学教育の充実を求める決議案及び道職員の綱紀保持に関する決議案を原案可決。

次に、地方バス生活路線の維持確保に関する意見案ほか2件の意見案について、原案可決。

次に、平成4年度各会計歳入歳出決算の閉会中継続審査、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続 調査の件を決定して、開会以来10日目の**12月10日閉会**した。

⑥ 提出案件の議決状況は、次のとおりである。

担	⊔ ≠ ×	提出件数		議決の状況							
提出者		灰山什奴	原案可決	報告のみ	継続審査	計					
知	事 30		26	3	1	30					
議	議 員 8		8			8					
<u>ā</u> †		38	34	3	1	38					

本 会 議

O12月1日(水) 午前10時47分開議、桜井外治 議長、平成5年第4回定例会の開会を宣し、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例 会の会期を本日から12月10日までの10日間と決定。

日程第3 議案第1号ないし第15号及び報告第1号を議題とし、知事から提出議案について説明。

日程第4 意見案第1号を議題とし、提案説明 及び委員会付託を省略し、異議なく原案のとおり 可決。

議案調査のため、12月2日を休会することに決 定して、午前11時散会。

○12月3日(金) 午前11時10分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号及び報告第 1号を議題とし、代表質問に入り、

和田 敬友議員(自民)から、



- 1 道財政運営上の問題点について
 - 道の財政力が低下していることに対する見解
 - 公債費負担比率上昇に対する認識
 - 地方債依存度の上昇及び巨額残高の道民への 影響
 - 地方債残高の圧縮見通し
 - ・食の祭典債務処理のための職員削減数及び人件費削減状況
 - 戦略プロジェクト実現の見通し及びそれへの 投資額に対する認識
 - 第三セクター設立急増に対する認識
 - 第三セクターへの出資金と財政圧迫との関係
 - 第三セクター経営不振の道財政への影響

- 道経連の第三セクター見直し申入れへの対応
- 本年だけで9件の第三セクターが新設される ことに対する見解
- 財政運営の方針
- 健全財政堅持方針と今日の道財政状況との関係
- 2 平成6年度予算編成について
 - 予算編成に向けての姿勢、方針及び公約の取 扱い
- 3 道職員による不祥事への対応について
 - 今回の土木現業所等における職員の不祥事等 に対する受止め及び今後の対処
- 4 公共事業の入札制度について
 - 入札制度のあり方に対する認識及び今後の対 処
- 5 冷害対策について
 - 優良事例の実態
 - 営農基本技術の果たした役割及び基本技術実 践に向けての取組み
 - 水稲共済制度における損害評価収量と実際の 収量との差異の問題解決に向けての国への働きかけ及び未改善の理由並びに今後の対処
 - 農業生産減少による産業別影響度
 - 間接被害状況
 - ・中小企業振興資金等の予算措置における資金 需要の把握状況
 - 米安定供給に向けての取組み
 - ・米小売価格把握のための調査内容及び結果
 - 便乗値上げ防止措置
- 6 農産物市場開放問題について
 - ・ウルグアイラウンド農業交渉の動き及び政府 の対応に対する見解
 - 日米間での非公式合意内容に対する受止め
 - 市場開放阻止に向けての対処
- 7 地方空港の整備について
 - 公約に関するこれまでの取組状況及び実現の 見通し
 - 丘珠空港滑走路延長の陳情に対する受止め及 びこれまでの検討状況
- 8 土地監視区域指定解除について
 - 規制解除、届出面積緩和等規制緩和に向けての対処
- 9 重症心身障害児施設の経営安定対策について
 - 施設経営の現状及び課題
 - •経営改善に向けての対応及び成果の見通し

- 10 高校入試における観点別評価導入について
 - 観点別評価導入の経過及び考え方
 - 客観的評価基準提示の可否
 - ・ 教師と父母との関係に及ぼす影響
 - 高等学校における観点別評価取扱いに対する 認識
- 11 公安問題について
 - 本道における暴走族数及び暴走行為内容
 - 暴走が減少しない理由
 - 10月19日の暴走族集団による暴行事件におけ る警察官の対応
 - 歳末における盛り場の実態
 - 暴力団を対象とした盛り場対策
 - ・歳末における盛り場対策

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から 答弁があって、午後零時36分休憩、午後2時48分再開。同 議員から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨 発言があり、午後3時7分休憩、午後4時11分再開し、直 ちに延会。

O12月6日(月) 午後2時4分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号及び報告第 1号を議題とし、

12月3日の和田敬友議員(自民)の再質問に対し、知事及び教育長から答弁。同議員から発言。

髙橋 由紀雄議員(社会)から、



- 1 職員綱紀の保持について
 - 今回の土木現業所職員による汚職事件に対す る受止め
 - 服務規律・組織機構の再点検及び土木事業執行方法に対する見解
- 2 平成6年度予算編成について
 - 予算編成における基本姿勢
 - 今年度の道税収入の見通し
 - 平成6年度の財源対策

- 積立金による財源調整に対する見解
- 3 中国との交流について
 - 中国との交流推進に当たっての考え方及びこれまでの交流内容
 - 中国の発展に対する認識
 - 中国東北3省との交流に対する見解
 - 環境問題に関する交流推進に対する見解
- 4 個人情報保護制度の創設について
 - 制度創設に向けての配慮及び制度の基本理念
 - 民間事業者保有情報への対応
- 5 老人保健福祉計画について
 - 計画達成のための必要財政規模及び財源対策
 - 在宅介護支援センターの体制整備に対する見 解
 - 身体介護型ホームヘルパー養成に対する見解
- 6 石炭・産炭地域問題について
 - ・新石炭政策に関する認識
 - 住友赤平炭鉱の今後の経営方針の把握状況
 - 雇用・地域対策に向けての国や石炭会社への 対応
 - 産炭地域振興実施計画の現時点での実効性
 - 計画実現に向けての取組み及び今後の方針
- 7 農業問題について
 - ウルグアイラウンド農業交渉に対する認識
 - ゆとりある農業・魅力ある農村づくりに向けての施策
 - 今後の農政の方向性
 - 本道農業・農村振興に向けての対応
- 8 私学助成について
 - 私学経営及び父母負担の現状に対する認識
 - ・平成6年度予算編成における私立高校管理運営対策費補助金への対処
- 9 雇用問題について
 - 道内の雇用状況に対する認識
 - 高校卒業予定者の就職内定状況に対する認識 及び対策
 - 高校における進路指導に対する見解

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。

髙橋 鉱議員(公明)から、

- 1 対ロシア交流について
 - ロシア極東地域との交流拡大に向けての取組 み
 - サハリン州での事務所開設に向けての取組み
 - 日本一ロシア間のフェリー定期航路開設に向けての経過に対する認識及び取組み



- 2 丘珠空港拡張問題について
 - この問題に対する見解
 - 今後の対応
- 3 国際エアカーゴ基地構想について
 - 新千歳空港24時間運用に向けて住民理解を得るための取組み
 - ヨーロッパ歴訪を踏まえた今後の取組み
 - 自衛隊の訓練空域、ロシア・中国機の新千歳 乗入れ制限等の問題に対する見解
 - 千歳周辺地域の産業開発の取組み及び今後の 展開見通し
- 4 道職員の綱紀保持について
 - 汚職事件の再発防止策
 - 事業発注機関等における執行体制確立に向け ての取組み
- 5 本道経済の実態等について
 - 本道景気の実態に対する認識
 - 今後の景気回復に向けての対策
- 6 産業振興について
 - 本道工業振興の現状に対する認識及び今後の 振興方策
 - 企業誘致対策
- 7 農業問題について
 - ・北海道農業・農村のめざす姿の具体的施策内 🌣
 - 省力的生産体制構築に対する見解
 - 有機物資源の有効活用に向けての取組み
- 8 老人保健福祉計画について
 - 市町村に対する支援方策への取組み
 - ホームヘルパーの資質向上に向けての取組み
 - 介護支援センターの整備方針
 - 計画推進のための医療部門の連携に対する見 解
- 9 肢体不自由児総合療育センターの機能充実に ついて
 - 機能充実に向けたこれまでの検討経過及び取

組み

- 10 環境問題について
 - 環境基本法制定に対する受止め及び今後の対 応
 - 環境基本条例制定に対する見解
 - 環境影響評価に対する見解
 - フロンガス使用規制に向けての取組み
- 11 カナダ・アルバータ州との交流について
 - アルバータ州との姉妹交流の取組み
 - 高校生交換留学等への取組み
- 12 単位制高校について
 - 北海道有朋高校での単位制課程開設によるこれまでの成果
 - 単位制教育充実に向けての取組み
 - 道立高校定時制課程での単位制導入に向けて の取組み

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後4時30分延会。

O12月7日(火) 午後4時11分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号及び報告第 1号を議題とし、

水野 重男議員(民政)から、



- 1 第三セクターについて
 - 道関係第三セクターの活動状況に対する評価
 - 黒字会社が少ないことに対する見解
 - 第三セクターの統合・整理に対する見解
 - 第三セクターの経営責任明確化に対する見解
 - ・職員の活用法に対する見解
 - 第三セクターの設立・運営基準、協議会設置 等に対する見解
- 2 中核都市と地域対策等について
 - 新長期総合計画における中核都市構想の実現 状況
 - 中核都市機能充実に向けての取組み

- 室蘭都市圏への取組み
- 全道各圏域での人口定住性向上の方策
- 3 米の輸入自由化問題について
 - 政府への抗議等の実施に対する見解
- 4 北海道農業・農村のめざす姿について
 - めざす姿の使命に対する認識
 - 農家の固定化負債への対処
 - 農地の多目的利活用に対する見解
 - 農村社会機構の改革に対する認識及び措置
- 5 建設工事の入札制度等について
 - 指名競争入札が中心となっていることに対する見解
 - 一般競争入札実施に対する見解
 - 指名停止の意図及びその期間の決定根拠
 - 不祥事防止のための措置
 - 道職員による汚職事件への対応及び再発防止 策

等について質問があり、知事から答弁。あらかじめ会議時間を延長。同議員から再質問、知事から答弁。

日程第1の議事を中止し、

追加日程 決議案第1号及び意見案第2号を議 題とし、提案説明及び委員会付託を省略し、いず れも異議なく原案のとおり可決。

追加日程 議案第16号ないし第26号を議題とし、 知事から追加提出議案に関する説明を行い、午後 5 時 6 分延会。

○12月8日 (水) 午前10時50分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第26号及び報告第 1号を議題とし、一般質問に入り、

伊藤 条一議員(自民)から、

- 1 老人保健福祉計画について
 - 特別養護老人ホームの床数整備目標値に対する見解
 - 財政面及びマンパワー育成確保に向けての取 組み
- 2 河川の環境整備について
 - 道内の河川環境管理基本計画策定に向けての 取組み
 - 新川・星置川の環境管理基本計画における規 定事項及び事業の推進方法
 - モデル河川として新川・星置川を設定した理由
 - ふるさとの川づくり事業に対する市町村から

- の要望状況及び道の採択基準
- 川づくり基本計画策定の意図
- 河川環境管理基本計画との整合性に対する見解
- リバーフロント整備センターの利活用の状況
- 3 公共賃貸住宅の建替について
 - 国の取組みに対する見解及び道の建設戸数目標値設定の根拠
 - 国の公共賃貸住宅建替10か年戦略における支援策の改善状況
 - 公共賃貸住宅建替促進計画推進のための諸課 顕への対処

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、 知事から答弁。

高橋 定敏議員(自民)から、

- 1 農業問題について
 - 農業集落排水事業に対する見解及びこの事業 への取組状況
 - 排水事業を進める上での技術者の確保対策
 - ・食に対する認識
 - 食料自給率の現状及び自給率低下に対する認識
 - 食料安全保障に対する見解
 - 日本の食料備蓄政策に対する見解
 - 備蓄技術開発に対する見解
- 2 海洋レクリェーションと漁業者とのトラブル 防止策について
 - マリンスポーツの実態及びトラブル発生の状況並びにトラブル防止策
 - •海域設定、海釣り公園の建設等に対する見解
- 3 母子・寡婦福祉対策について
 - 母子家庭に対する施策内容及び今後の取組み
- •満18歳での児童扶養手当打切りに対する見解 等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、 知事から答弁。

勝木 省三議員(自民)から、

- 1 合併処理浄化槽について
 - 生活環境の改善及び生活排水対策の進め方
 - 合併処理浄化槽の全国及び本道の取組状況
 - 合併処理浄化槽に対する道の助成状況及び助成見直しに対する見解
- 2 教育問題について
 - 高校生の暴力行為・非行の原因及び学校側の 防止対策
 - 非行防止に向けての関係機関との連携

• 教員の資質向上に向けての研修内容

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員 から発言があって、午後零時14分休憩、午後1時35分再開。

山口 眞人議員(自民)から、

- 1 苫東工業港について
 - 苫東工業港や道央圏港湾基本構想等に対し各市から要望・意見が提出されていることに対する認識及び対処
 - 北海道新聞社の社説の内容に対する受止め
 - 報告書中の機能導入の場合の他港への影響の 検討状況
 - 他港への影響調査方法に対する見解
 - 報告書中の機能導入と工業港としての性格と の関連
- 2 大店法違反について
 - ・テナント架設等によるトラブル防止のための 指導に対する見解
 - 店舗外販売への対処
- 3 脱スパイクタイヤの地域指定について
 - 地域指定に関する各市町村長の意見内容
 - 知事意見書提出に対する見解
 - 地域指定猶予に対する見解
 - 条件付意見を提出した市町村の取扱い

等について質問があり、知事から答弁。同議員から発言。

中川 隆之議員(自民)から、

- 1 沖合底引き網漁業について
 - 沖底船による資源乱獲の状況の把握度合
 - 沖合底引き網漁業に対する今後の指導方針
 - 沿岸漁業振興上の沖合底引き網漁業の位置付け
- 2 韓国漁船問題について
 - 日本海における韓国漁船による漁具被害及び 違反状況並びに対策
 - 西日本における韓国漁船による被害状況及び この地域での対策
 - 日韓間の第四次自主規制措置期限切れに向けての対応

等について質問があり、知事から答弁。同議員から発言。 工藤 啓二議員 (公明) から、

- 1 環境保全対策について
 - 湿原の実態調査及び湿原保全管理のための技 術開発等の取組状況
 - 湿原保全のマスタープラン策定に向けての取 組状況
 - 道内河川及び湖沼の汚濁状況に対する認識及

び汚濁防止対策

- 2 教育問題について
 - 私立高校の役割及び現状に対する認識
 - 私立高校管理運営費補助金増額に対する見解
 - エイズ教育に対する学校の取組み

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後3時9分休憩。 午後3時29分再開。

板谷 実議員(民政)から、

- 1 苫東開発について
 - 国の新計画策定に向けての地元意見のとりま とめ方法・時期及び国への意見の提出時期
 - 国際熱核融合実験炉と学術研究機能との関係
 - 核融合エネルギーに対する見解
 - ・実験炉の誘致競争に対する見解
 - 実験炉設置と本道の国際化との関係
 - 実験炉及び苫東への誘致に対する見解
 - 航空需要に対する見解
 - 空港整備に対する見解
 - 日本の空港の規模に対する見解
 - ・ 苫東での超音速旅客機対応の新空港建設検討 に対する見解
 - 苫東工業基地の土地利用に対する見解
- 2 農業問題について
 - 土づくりの推進に対する見解
- 3 高校入試について
 - 受験機会の複数化等に対する見解
 - 生徒の意見を反映できる学校選択方式導入に 対する見解

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員 から再質問、知事から答弁。

萩原 信宏議員(共産)から、

- 1 組川新政権について
 - 新政権の政治手法に対する見解
- 2 消費税問題等について
 - 税の直間比率見直しに対する見解
 - 消費税率引上げに対する見解
 - 実質減税となる道内勤労者数
- 3 年金制度について
 - 年金制度改正に対する評価
 - 国庫負担増額要求に対する見解
- 4 原発問題について
 - 今後の原発増設に対する見解
- 5 コメの輸入自由化問題について
 - 部分自由化に対する見解

- 自由化反対のアピールに対する見解
- 6 不況対策について
 - 道の中小企業振興資金融資制度に対する見解
 - ・北海道拓殖銀行による道の資金活用向上要請 に対する見解
 - ・ 奥尻復興に向けての拓銀の役割
- 7 公共事業における問題について
 - 使途不明金多額会社の入札参加資格者名簿へ の登載取消措置に対する見解
 - 道職員による汚職事件に関する調査委員会設 置に対する見解
 - 入札制度の改革に対する見解
- 8 教育問題について
 - 私立高校への助成に対する見解
 - 来春からの高校入試における観点別評価導入 に対する見解

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、同議員から発言。

石川 十四夫議員(道政)から、

- 1 産炭地域の振興について
 - 産炭地域に対する現状認識
 - 産炭地域振興実施計画の国の取組状況
 - 市町村実施事業の道の支援内容
 - 産炭地域への企業誘致に向けての取組み及び 今後の対応
 - 空知産炭地域総合発展機構の実施事業内容及び実施事業に対する道の指導内容
- 2 都道府県議会議員の定数配分について
 - 愛知・千葉県議会議員選挙に係る定数訴訟最 高裁判決に対する認識
- 3 投票率の低下及び選挙啓発のあり方について
 - ・投票率低下に対する認識及び選挙啓発のあり 方に対する見解

等について質問。あらかじめ会議時間を延長。知事及び選挙管理委員長から答弁。同議員から発言があって、質疑及 び質問を終結。

議長から、予算及び決算に関する案件について、本議会に31人の委員をもって構成する予算特別委員会及び27人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、議案第1号ないし第6号及び第16号ないし第24号は予算特別委員会に、報告第1号は決算特別委員会に付託の上、審査する旨を諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員(31人)

板谷 実(民政) 明田 辰義(自民) 石井 孝一(自民) 川村 正(自民) 山口幸太郎(自民) 乙川 節郎 (公明) 髙橋由紀雄(社会) 平出 陽子(社会) 吉田 栄(社会) 井野 厚(社会) 大橋 晃(共産) 忠(社会) 鰹谷 小池 昌(社会) 吉田 恵悦(公明) 髙橋 文明(自民) 永井 利幸(自民) 野呂 善市(自民) 和田 敬友(自民) 勝木 省三(自民) 平井 進(自民) 綿貫 健輔(自民) 工藤万砂美(自民) 中川 隆之(自民) 西本 美嗣(社会) 敏捷(社会) 大島 一郎 (社会) 森 神本 三也(社会) 岩崎 守男(社会) 保(社会) 高木 繁光(自民) 笠島

〇決算特別委員(27人)

靖(自民)

若狭

岡本 修(社会) 伊藤 条一(自民) 高橋 定敏(自民) 山崎 正隆(自民) 乙川 節郎(公明) 風早 俊男(民政) 三津 丈夫(社会) 大橋 晃(共産) 佐々木隆博(社会) 菅原 功一(自民) 高橋 一史(自民) 野呂 善市(自民) 平井 進(自民) 山口 眞人(自民) 綿貫 健輔(自民) 中川 隆之(自民) 西本 美嗣(社会) 大内 良一(社会) 柏倉 勝雄(社会) 谷川 英雅(社会) 長岡 寅雄(社会) 石川十四夫(道政) 輪島 幸雄(社会) 舟山 広治(社会) 平野 明彦(自民) 水岡 薫(自民) 古川 靖晃(自民)

残余の案件については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託した。

各委員会付託議案審査のため、12月9日休会することに決定して、午後5時8分散会。

O12月10日(金) 午後3時43分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第26号を議題とし、 予算特別、保健環境各委員長、文教副委員長、農 政、建設、水産林務、総務各委員長からそれぞれ 各委員会における付託議案の審査の経過と結果に ついて報告の後、討論に入り、萩原信宏議員(共産)から、議案第1号、第7号、第11号及び第13号に関する反対討論並びに議案第21号に関する賛成討論があって、討論終結。

採決に入り、議案第1号、第7号、第11号及び 第13号を問題とし、起立採決の結果、起立多数を もって委員長報告のとおり可決(共産反対)。

次に、議案第2号ないし第6号、第8号ないし 第10号、第12号及び第14号ないし第26号を問題と し、異議なく委員長報告のとおり可決。

日程第2 決議案第2号及び第3号を議題とし、 提案説明及び委員会付託を省略し、いずれも異議 なく原案のとおり可決。

日程第3 意見案第3号ないし第5号を議題と し、提案説明及び委員会付託を省略し、いずれも 異議なく原案のとおり可決。

決算特別委員長からの申出のとおり、報告第1 号について閉会中継続審査に付することを異議な く決定。

閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、関係常任委員長及び議会運営委員長並びに交通安全対策特別委員長から申出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は報告第1号を除 きすべて議了。

議長から閉会のあいさつがあって、午後 4 時10 分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審 査の経過と結果について御報告を申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は12月8日設置され、 平成5年度各会計補正予算案11件及びこれに関連 する議案4件が付託されたのでありますが、本委 員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員 長の互選を行うとともに、審査の方法等について 協議の結果、各部所管に対する審査については、 分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2 分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第 であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長 の互選を行った結果、

第1分科会は、 委員長に 森 敏捷君 副委員長に 川村 正君 第2分科会は、 委員長に 明田 辰義君 副委員長に 吉田 栄君

を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、12月9日、各部所管の審査に入り、同日、各分科会の一切の質疑を終了し、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、本年の冷害に対する諸対策に要する経費、景気対策のための公共事業などのほか、当面措置を要する経費及び事業の確定に伴う経費並びに道職員の給与改定等について所要の措置を講じようとするものであり、総額539億9千万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する案件でありまして、これらの案件を中心に、道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会といたしましては、引き続き、分科会において質疑保留となった事項、すなわち、新長計と電力需給について総括質疑を行い、昨日、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。

本日、各派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、議案第1号につきましては、意見の一致を見るに至らず、採決

の結果、賛成者多数をもって原案可決、その他の 案件、すなわち、議案第2号ないし第6号及び第 16号ないし第24号は、いずれも全会一致、原案可 決と決定した次第であります。

なお、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すな わち、

- 1. 第3セクター等に対する出資に当たっては、 事業目的、事業内容、民間の協力などを十分 勘案の上、対応するとともに、既出資団体に ついては、その機能や活動内容を調査の上、 健全経営が図られるよう指導すべきである。
- 1. 道財政は、最近、硬直化の傾向が見られる 状況にあることから、今後、行財政の簡素効 率化、経費節減を徹底し、財政の健全化を図 るべきである。

との附帯意見を付されたいとの動議が提出され、 採決の結果、賛成者多数をもってこれを決定した 次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経 過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

第4回定例会において知事から提出のあった案件

議案

提出月日	番号	件名	付託委	5員会	議決月日	議事結果
12. 1	1	平成5年度北海道一般会計補正予算(第5号)	予算	特別	12. 10	原案可決
同	2	平成5年度北海道札幌医科大学医学部附属病院特别会計補正予算(第2号)	ĮĒ	i]	同	同
同	3	平成5年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算 (第2号)	ļį	i]	同	同
同	4	平成5年度北海道公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	Į.	i]	同	同
同	5	平成5年度北海道流域下水道事業特別会計補正予算(第3号)	į	i]	同	同
同	6	平成5年度北海道病院事業会計補正予算(第3号)	Įī	i]	同	同
同	7	北海道病院事業条例の一部を改正する条例案	保健	環境	同	同
同	8	北海道環境影響評価条例の一部を改正する条例案	Ī	i]	同	同
同	9	北海道脱スパイクタイヤ推進条例の一部を改正する条例案	Ī	ā]	同	同
同	10	北海道立学校条例の一部を改正する条例案	文	教	同	同
同	11	農用地整備公団営事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農	政	同	同
同	12	公共下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建	設	[7]	同
同	13	漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水産	林務	同	同
同	14	上磯郡上磯町と亀田郡七飯町との境界変更の件	総	務	间	同
同	15	財産の取得 (物品・絵画〔パリの空に花〕) に関する件	文	教	[급]	同
12. 7	16	平成5年度北海道一般会計補正予算(第6号)	予算	特別	同	同
同	17	平成5年度北海道札幌医科大学医学部附属病院特别会計補正予算(第3号)	Į.	ī]	同	同
同	18	平成5年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算(第3号)	Į į]	同	同
同	19	平成5年度北海道病院事業会計補正予算 (第4号)	Ī	i]	同	同
同	20	平成5年度北海道有林野事業会計補正予算(第1号)	Į.	i]	同	同
同	21	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	F	i]	间	同
同	22	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	Į.	i]	同	同
同	23	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一 部を改正する条例案	Ī	i]	同	间
同	24	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	[3	i]	[5]	同
同	25	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	文	教	[司]	同
同	26	北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総	務	同	同

報 告

提出月日	番号	 件	名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 1	1	平成4年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件		決算特別	12. 10	継続審査
同	2	平成4年度北海道市町村振興基金の運用に関する件				報告のみ
同	3	平成4年度北海道土地開発基金の連用に関する件				同
同	4	専決処分報告の件(損害賠償の額の決定、9月4日1件 9月16日1件専決処分)	9月14日2件、			同

第4回定例会において議員から提出のあった案件

決議案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
12. 7	1	農畜産物の市場開放阻止に関する決議	伊達忠一議員 ほか5人	12. 7	原案可決
12. 8	2	父母負担の軽減を図り私学教育の充実を求める決議	同	12. 10	同
12. 9	3	道職員の綱紀保持に関する決議	间	同	[1]

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提出者	議決月日	議事結果
12. 1	1	地方税財源の確保に関する意見書	畠山 博議員 ほか10人	12. 1	原案可決
12. 7	2	農畜産物の市場開放阻止に関する意見書	伊達忠一議員 ほか5人	12. 7	[ii]
12. 10	3	地方バス生活路線の維持確保に関する意見書	畠山 博議員 ほか13人	12. 10	同
同	4	病院給食の一部負担導入に反対する意見書	乙川節郎議員 ほか11人	[司]	[n]
同	5	韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する意見書	神本三也議員 ほか12人	[6]	[6]

決議案第1号 農畜産物の市場開放阻止に関する決議

平成5年4定 伊達忠一議員ほか5人提出 平成5年12月7日原案可決

米、欧州共同体とのウルグアイ・ラウンドにおける農業交渉が、大筋で合意に達したことから、政府がコメの部分開放を決めるが如き動きがあるがこれは政策転換を意図したものであり、極めて遺憾である。

三度にわたる国会決議を無視し我が国の食料自給をはじめ国内農業振興策を明らかにすることなく農畜産物の市場開放をすすめようとしている。

コメの関税化やミニマムアクセスの受入れ、乳製品・澱粉などの関税化、さらには、牛肉の関税率の引き下げなどが行われると、本道農業のみならず地域経済・社会全体は甚大な影響を 受けることは必至である。

よって北海道議会は道民の声を無視するような動きに強く抗議する。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

決議案第2号 父母負担の軽減を図り私学教育の充実を求める決議

(平成5年4定 伊達忠一議員ほか5人提出 平成5年12月10日原案可決)

私立学校は公立学校とともに、21世紀を担う子供達の公教育に重要な役割を果たしている。 しかし、児童、生徒の減少期に伴い、私学の経営環境は厳しく、父母の負担も増蓄している 現状にある。

道においては、これまで、管理運営費補助金の増額など、私学助成の充実に努力をしてきているが、現在、国の予算編成作業の中で、助成制度の見直しも言われている。

公私の学費格差の解消や高等学校における40人学級の早期実現など教育条件の向上を図り、 私学教育を振興するため、国に対して強く私学助成の拡充を要望するとともに、道においても、 管理運営費補助金等のより一層の充実を図るべきである。

右決議する。

平成 年 月 日

北海 道議会

決議案第3号 道職員の綱紀保持に関する決議

平成5年4定 伊達忠一議員ほか5人提出 平成5年12月10日原案可決

旭川土木現業所幹部が、土木工事の発注に関わり、業者から金品の贈与を受け、不当な便宜 供与を行っていたとされる今回の汚職事件は、公務員倫理に著しく反するばかりか、道政に対 する道民の信頼を大きく損なうものであり、極めて遺憾である。

道職員の不祥事、汚職事件などは、発生のつど、再発防止に全力をあげるとしていながら、後を絶たないことは道職員の綱紀が著しく弛緩している証左であると共に、また知事をはじめとする幹部職員の人事管理が適正を欠いていると言うべきである。

よって知事は、一連の事件の真相をすみやかに究明するとともに綱紀の粛正と服務規律の厳 正な確保に一層努め、特に公共事業についての執行体制を改善するとともに、入札制度の見直 しを行い、道政に対する道民の信頼回復に全力を傾注すべきである。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

意 見 書

意見案第1号 地方税財源の確保に関する意見書

(平成5年4定 畠山 博議員ほか10人提出 平成5年12月1日原案可決)

我が国は、景気の早期回復をはかることが急務であり、引き続く景気の低迷は、国、地方の 税収動向にも深刻な影響を与え、北海道及び道内市町村の今後の行財政運営は一段と厳しいも のが見込まれている。

また、豊かな住民生活の実現をはかるため、地方公共団体の役割は、極めて重要であり、北海道及び道内市町村においても各種基盤の整備、機能の強化が特に緊要な課題となっている。

このため裏付けとなる恒久的かつ安定的な地方税財源を確保することが不可欠であり、今回 の抜本的税制改革に当たって、地方自治の原点に立ち返り、地方分権の推進に即した地方税制 の確立をはかるとともに、地方団体共有の固有財源である地方交付税について、地方単独事業 の拡充強化等行政需要に的確に対処するため、その総額の確保をはかる必要がある。

したがって、平成6年度の地方財政対策において次の事項の実現を強く要望する。

計

- 1 地方分権の推進に即した地方税制の確立をはかること。
- 1 地方単独事業の拡充強化等をはかり、地方交付税の総額を確保すること。 右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 桜 井 外 治

内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣 各通

意見案第2号 農畜産物の市場開放阻止に関する意見書

(平成5年4定 伊達忠一議員ほか5人提出 平成5年12月7日原案可決)

7年余に及ぶガット・ウルグアイ・ラウンド交渉の最終合意期限が今月15日に迫り、大詰めを迎えるなかで、本日、ドゥーニ議長の調整案が我が国に提示された。

この内容については、伝えられるところによると、コメについては、「関税化を6年間猶予し、それ以降は再協議とするとともに、95年から段階的に部分開放する」とし、また、コメ以外の24品目にわたる非関税品目の農畜産物については、「ミニマムアクセスを設けるとともに、関税化する」という内容と見られている。

この調整案について、政府は近日中にも受入れを決定する動向にあるが、コメの部分開放、24品目に含まれる乳製品、雑豆、澱粉の関税化は、本道農業の基幹作目に係る問題であり、農業はいうに及ばず、地域経済の崩壊さえ招きかねない、極めて甚大な影響を及ぼすものである。よって、政府は、ガット・ウルグアイ・ラウンド交渉において、いかなる形であれ、コメ及び乳製品、雑豆、澱粉などの市場開放を行わないよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 桜 井 外 治

内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣 大蔵大臣、通産大臣

各通

意見案第3号 地方バス生活路線の維持確保に関する意見書

(平成 5 年 4 定 畠山 博議員ほか13人提出 (平成 5 年12月10日原案可決)

地域住民生活の維持発展に重要な役割をはたしてきた地方バス路線は、マイカーの大幅普及など交通輸送体系の変化や過疎化の進行に伴い、廃止または縮小の現状にある。

こうした中で現在「地方バス路線運行維持対策要綱」の見直しが進められているが、地方バスに対する各種制度が現行水準を割ることになれば、地方バス路線の維持運営はもとより、地域住民生活にとっても極めて大きな影響を及ぼすことは明らかである。

とりわけ、地方バスに交通手段の依存度が高い高齢者、学生、身障者などにとっては、まさ に死活問題である。

よって、政府におかれては、公共交通機関である地方バス生活路線の確保にあたり左記のとおり措置されることを強く要望する。

₫ď.

- 1 第2種生活路線の維持確保を図ること。
- 1 廃止路線代替バスに対する補助対象経費の拡充及び採択基準の緩和を図ること。

- 1 特定地方交通線転換バス事業運営費補助金の確保を図ること。
- 1 平成7年度より実施される地方バス路線対策については現行の「地方バス路線運行維持対 策要綱」に地域実情を組み入れるなど制度の拡充強化を図ること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 桜 井 外 治

意見案第4号 病院給食の一部負担導入に反対する意見書

平成5年4定 乙川節郎議員ほか11人提出 平成5年12月10日原案可決

厚生省・医療保険審議会は、現在、医療保険制度全般にわたる法・制度の枠組みの見直し作業を開始している。

中でも、病院給食の一部を患者に負担させる方向で審議が進められており、そうなると、医療費の一部負担以外にも、相当額の食費を入院患者個人が負担することとなる。長期入院患者にとってはかなりの経済的負担となり、全ての人が平等に「いつでも・どこでも・誰でも」が安心して受けられる医療体制が更に崩れていくことにもつながる。

また、入院中の食事は、治療の効果が発揮できるよう医学的・栄養学的に管理される必要があり、治療効果の最優先が病院給食の理念である。

よって、患者負担の増大と病院給食の理念をも覆す病院給食の患者負担導入に反対し、現行の医療保険給付の存続を強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 桜 井 外 治

内閣総理大臣、大蔵大臣、 厚生大臣、自治大臣

各通

意見案第5号 韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する意見書

(平成5年4定 神本三也議員ほか12人提出 マ成5年12月10日原案可決)

北海道議会としては、これまで再三にわたり、韓国漁船に対する漁業水域法の適用を強く訴えてきたが、いまだその実現を見るに至っていないことは、甚だ遺憾である。

北海道周辺水域で操業する韓国漁船に対しては、我が国の取締権や国内規制が及ばないことなどから、資源の減少や漁場の荒廃は極めて憂慮すべき状況になっており、また、漁具被害も後を絶たず、漁民の怒りは極限に達している。

さらに、さけ・ます漁業や北転船など北洋漁業の縮減が続く中で、公海における流し網の全面禁止やオホーツク公海・ベーリング公海における規制の強化などにより本道周辺水域への操業依存度はますます高まっており、資源や漁場に見合った操業体制づくりなど資源管理型漁業の積極的な推進が強く望まれている。

このような中で、韓国漁船の操業を従来どおり続けさせることは到底容認できるものではない。

かかる事態の根本的解決のため、明年12月末をもって期限切れとなる現行の日韓政府間取り 決めの見直しに係る協議が明年1月にも開始されようとしているこの機会に、韓国漁船に対す る我が国漁業水域法の適用を求めるとともに、それが直ちに困難な場合には過渡的措置として、 我が国の取締権や国内規制が適用される「資源管理水域」制度の創設など韓国漁船の操業に係 る基本的枠組みの改善を強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 桜 井 外 治

内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣 各通

請願・陳情

① 第4回定例会において関係常任委員会に付託されたもの。

請願

文書表 番 号	件	名	請	願	者		付託委	員会	審査の結果
84	アイヌ墓地改葬事業の見直しを才	えめる件	札幌市白石[1-1-27	区北线		4 丁目 早苗	生活者	畐祉	継続審査
85	北海道平取養護学校静内ペテカリ	の園分校改築整備を求める件	静内町手を-	_	ぐ親の: 持田		文	教	同
86	義務教育費の国庫負担制度堅持、 予算増額と父母負担の軽減を求め		ゆきとどい 北海道連絡: 会長 田 ⁻	会		すめる 外1人	同		同
87	ゆたかな私学教育の実現を求める	る私学助成に関する件	連合北海道 会長 兼	古 担	5郎	外4人	同		同
88	小中高35人以下学級と私学助成の)抜本的拡充を求める件	ゆきとどい 北海道連絡3 会長 田 ⁻	숝		すめる 外1人	同		同

陳 情

文書表番 号	件	名	陳	情	者		付託委	員会	審査の結果
21	静内町に高等養護学校の新設を求める	3件	静内町手を		ぐ親の会 持田	-	文	教	継続審査
22	不用犬・不用猫を減らすための施策に	こ関する件	北海道動物		為会 平井百	百合子	保健理	環境	同
23	地域共同作業所に対する補助金の増 に関する件	頂と授産施設の整備促進	共同作業所 支部 支		連絡会才 曽我		生活福	畐祉	同
24	道営競馬札幌場外馬券発売場の札幌者 の開設推進に関する件	那心部(ススキノ地区)へ	北海道道営		協力会 三浦	英一	農	政	同

委員会の動き

議会運営委員会

〇11月24日(水) 開議 午後1時5分 散会 午後1時7分 議会運営委員会室委員長 吉川 貴盛(自民)

- 1 会派役員の異動について
- 2 第4回定例会について
 - 招集期日を12月1日とすることを了承。
 - 会期は10日間とする。
 - ・総務部長から、提出予定案件について説明。
 - 日程について、次のとおり取り進める。

▽ 第4回定例会

12月1日 本会議(提案説明) 休 会 2 日 3日 本会議(代表質問) 4日·5日 休 会 6 日 本会議(代表質問) 7 日 本会議(一般質問) 8日 本会議(一般質問、予算・ 決算特別委員会設置) 休 会 9 日 本会議 10日

- 3 代表質問について
 - •順位を自民、社会、公明、民政とする。
 - 各会派の発言時間使用状況について報告。
- O11月30日(火) 開議 午後零時55分 散会 午後零時59分 議会運営委員会室 委員長 吉川 貴盛(自民)
- 1 第4回定例会提出議案について
 - 総務部長から説明。
- 2 代表質問の通告について
 - •12月1日正午までとする。
- 3 一般質問について
 - 順位は、従来の例による。
 - 通告は、12月3日正午までとする。

- 4 予算及び決算特別委員会について
 - 委員会構成及び正副委員長の配分は、配付資料のとおりとする。
 - 予算特別委員会は、共産・道政の間で、また、 決算特別委員会は、公明・共産・道政の間で 委員配分をそれぞれ調整し、結果を後日報告 する。
 - ・委員名簿は、12月6日正午までに提出する。
- 5 意見案の取扱いについて
 - ・総務委員会において、「地方税財源の確保に 関する意見書」の発議が予定されており、提 出された場合、明日の本会議において議決す る。
- 6 休会について
 - 議案調査のため12月2日休会とし、12月3日 再開する。
- 7 12月1日の本会議の議事順序は明日協議する。

〇12月1日(水) 開議 午前9時47分 散会 午前9時50分 議会運営委員会室委員長 吉川 貴盛(自民)

- 1 意見案の取扱いについて
 - ・意見案第1号の提出があり、本日の本会議に おいて議決する。
- 2 本日の本会議の議事順序について
 - 事務局長説明のとおりとする。

〇12月3日(金) 開議 午前9時54分 散会 午後3時59分 議会運営委員会室委員長 吉川 貴盛(自民)

- 1 代表質問について
 - 通告(4人)について報告。
 - 本日2人、12月6日2人行う。
- 2 総務副委員長及び副知事の欠席について
 - ・地方税財源確保緊急総決起大会出席のため、 総務副委員長及び堀副知事が本日の本会議を 欠席する旨了承。
- 3 本日の本会議の議事順序について
 - 事務局長説明のとおりとする。午前 9 時55分 休憩、午後 3 時58分再開。
- 4 和田敬友議員(自民)の再質問に対する答弁 準備の状況について
 - ・総務部長から、時間を要する旨発言。

- 5 本日の本会議について
 - この程度にとどめ延会する。
- O12月6日(月) 開議 午後1時15分 散会 午後1時19分 議会運営委員会室 委員長 吉川 貴盛(自民)
- 1 12月3日の和田敬友議員(自民)の再質問に 対する答弁準備の状況について
 - 総務部長から、準備ができた旨発言。
 - 本日の本会議は和田議員の再質問に対する知 事の答弁から入る。
- 2 代表質問について
 - 通告内容等の変更を了承。
- 3 一般質問について
 - 通告(10人)について報告。
 - 諸派の順位を今回は共産、道政の順とする。
 - 個人別順位について、議事課長説明のとおり とする。
- 4 今後の代表及び一般質問の進め方について
 - ・代表質問は、本日3人(1人継続)、明日1 人行う。
 - ・一般質問は、12月7日5人、8日5人行う。
- 5 本日の本会議の議事順序について
 - 事務局長説明のとおりとする。
- O12月7日(火) 開議 午前9時43分 散会 午後3時58分 議会運営委員会室 委員長 吉川 貴盛(自民)
- 1 追加提出議案について
 - ・総務部長から説明。
 - 本日の本会議において、代表質問終了後、追 加日程として知事の提案説明を行う。
- 2 一般質問について
 - 通告内容等の変更を了承。
- 3 本日の本会議について
 - ・代表質問1人行う。
 - 次に追加提出議案に関する知事の説明を行う。 6 本日の本会議の議事順序について
 - 次に日程第1の議事とあわせ一括議題とし、 一般質問に入り、4人行う。
- 4 本日の本会議の議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。午前9時46分 休憩、午後3時55分再開。
- 5 決議案及び意見案の取扱いについて

- 決議案第1号及び意見案第2号の提出があり、 代表質問終了後、本日の本会議において、日 程第1の議事を中止し、追加日程とし上程し 議決する。
- 6 本日の本会議について
 - 代表質問終了後、決議案及び意見案を議決す
 - ・次に追加日程として知事の提案説明を行った 後、延会する。
 - 7 一般質問の進め方について
 - 明日改めて協議する。
 - 8 変更後の本会議の議事順序について
 - 事務局長説明のとおりとする。
- ○12月8日(水) 開議 午前9時43分 散会 午前9時46分 議会運営委員会室 委員長 吉川 貴盛(自民)
- 1 一般質問について
 - 通告内容等の変更を了承。
 - 本日9人行う。
- 2 予算及び決算特別委員会について
 - 予算特別委員会の諸派の委員を、今回は共産
 - 決算特別委員会の委員については、共産及び 道政とする。
 - 各委員会会派別委員数は、配付資料のとおり 決定した旨報告。
- 配付名簿のとおり委員を選任する。
- 3 議案の各委員会付託について
 - 事務局長説明のとおりとする。
 - 4 休会について
 - 各委員会付託議案審査のため、12月9日休会、 12月10日再開する。
 - 5 副知事の欠席について
 - 北海道開発庁に対する平成6年度北海道開発 関係予算の説明のため、堀副知事が本日の本 会議を欠席する旨了承。

 - 事務局長説明のとおりとする。
 - 〇12月10日(金) 開議 午後3時6分 散会 午後3時10分 議会運営委員会室 委員長 吉川 貴盛(自民)

- 1 各委員会付託議案の審議状況について
 - すべて議了した旨報告。
- 2 決算特別委員会の審議状況について
 - ・審査中の報告第1号「平成4年度北海道各会 計蔵入歳出決算に関する件」は、本日の委員 会で継続審査とすることに決定した旨報告。
- 3 決議案及び意見案の取扱いについて
 - ・決議案第2号及び第3号の提出があり、本日 の本会議において議決する。
 - ・意見案第3号ないし第5号の提出があり、本 日の本会議において議決する。
- 4 閉会中継続調査の申出について
 - ・会議規則第80条の規定により、閉会中継続調査を申し出る。
- 5 本日の本会議の議事順序について
 - 事務局長説明のとおりとする。

常任委員会

総務委員会

O11月9日(火) 開議 午後1時28分 散会 午後1時47分 第5委員会室

委員長 畠山 博(自民)

一般議事

- ① 行財政状況等に関する道内調査の実施概要の 報告を了承。
- ② 総務部長から、土地信託事業の進捗状況につ いて報告。
- ③ 中崎 昭一委員(自民)から質疑 入札制度について
- 〇11月30日(火) 開議 午前10時37分 散会 午前10時53分 第5委員会室 委員長 畠山 博(自民)

一般議事

- ① 総務部長から、道職員の不祥事について報告。
- ② 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部 長から、第4回定例会提出予定案件について説
- ③ 総務部長から、北海道南西沖地震被害状況に ついて報告。
- ④ 企画振興部長から、北海道南西沖地震災害復 興対策について報告。

湯佐利夫委員(自民)から質疑

- ⑤ 地方税財源の確保に関する意見案の発議を決 定。
- O12月10日(金) 開議 午後零時28分 散会 午後零時34分 第5委員会室 委員長 畠山 博(自民)

付託案件の審査

議案第14号

上磯郡上磯町と亀田郡七飯町との境界変更の 件 (原案可決)

議案第26号

条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

一般議事

- ① 地方バス生活路線の維持確保に関する意見案 の発議を決定。
- ② 平成6年度国の北海道関係予算及び意見案に 関する中央折衝の実施を決定。
- ③ 歳末取締視察の実施を決定。
- ④ 請願・陳情について、今後付託されるものを 含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出を することを決定。

牛活福祉委員会

O11月9日(火) 開議 午後1時25分 散会 午後1時40分 第9委員会室 委員長 乙川 節郎 (公明)

一般議事

- ① 生活福祉部長から、冷害対策状況について報 告。
- ② 萩原信宏委員(共産)から質疑 北海道女性史の編纂について
- O11月30日(火) 開議 午前10時35分 散会 午前11時30分 第9委員会室 委員長 乙川 節郎 (公明)

一般議事

- ① 生活福祉部長から、第4回定例会提出予定案 件について説明。
- ② 生活福祉部長から、北海道高齢者保健福祉計 画(仮称)について報告。

萩原信宏委員(共産)及び中川義雄委員(自 民)から質疑

- ③ 萩原信宏委員(共産)から質疑 重症心身障害児施設問題について
- 〇12月10日(金) 開議 午後零時10分 散会 午後零時25分 第9委員会室 委員長 乙川 節郎 (公明)

一般議事

北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する ① 平成6年度国費予算に関する中央折衝の実施

を決定。

- ② 病院給食の一部負担導入に反対する意見案の 発議を決定。
- ③ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出を することを決定。
- ⑤ 萩原信宏委員(共産)から要望 病院給食の一部負担導入に反対する意見案に ついて

保健環境委員会

O11月9日(火) 開議 午後1時20分 散会 午後1時54分 第3委員会室 委員長 高橋 庸(社会)

一般議事

- ① 保健環境事情に関する道外調査の実施を決定。
- ② 保健環境部長から、道立静内病院の静内町へ の移管について報告。

大橋 晃委員(共産)から質疑

- ③ 大橋 晃委員(共産)から質疑
 - (1) 人工呼吸器、吸引器などの貸与事業について
 - (2) 輸入米の残留農薬の検査について

O11月30日(火) 開議 午前10時28分 散会 午前11時14分 第3委員会室 委員長 高橋 庸(社会)

一般議事

- ① 保健環境部長から、第4回定例会提出予定案 件について説明。
- ② 保健環境部長から、環境基本法の概要について報告。
- ③ 保健環境部長から、新紋別空港整備事業に係 O11月30日(火) 開議 午前10時40分 る環境影響評価について報告。 散会 午前10時55分

大橋 晃委員(共産)から質疑

- ④ 保健環境部長から、北海道高齢者保健福祉計画(仮称)について報告。
- ⑤ 大橋 晃委員(共産)から質疑 骨粗鬆症対策について

〇12月10日(金) 開議 午後零時28分 散会 午後零時40分 第3委員会室委員長 高橋 庸(社会)

付託案件の審査

議案第7号

北海道病院事業条例の一部を改正する条例案

大橋 晃委員(共産)から質疑 道立静内病院の町移管について

議案第8号

北海道環境影響評価条例の一部を改正する条 例案 (原案可決)

議案第9号

北海道脱スパイクタイヤ推進条例の一部を改 正する条例案 (原案可決)

一般議事

- ① 平成6年度国費予算に関する中央折衝の実施 を決定。
- ② 請願・陳情について、今後付託されるものを 含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出を することを決定。

商工労働観光委員会

〇11月9日(火) 開議 午後1時39分 散会 午後1時44分 第8委員会室委員長 菊地 芳郎(社会)

一般議事

- 商工労働観光事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ② 久田 恭弘委員(自民)から意見 不況対策について
- ○11月30日(火) 開議 午前10時40分 散会 午前10時55分 第8委員会室 委員長 菊地 芳郎(社会)

一般議事

- ① 委員長から、「'93北海道フェスティバル」出席の件について報告。
- ② 商工労働観光部長から、第4回定例会提出予

定案件について説明。

小野寺 勇委員(自民)から意見

- ③ 商工労働観光部長から、「193北海道フェスティバル」実施結果の概要について報告。
- ④ 商工労働観光部長から、平成5年度上期における本道観光客入込み調査の結果概要について O11月30日(火) 開議 午前10時40分報告 数会 午前10時53分

永井利幸委員(自民)から質疑

○12月10日(金) 開議 午後零時28分 散会 午後零時37分 第8委員会室 委員長 菊地 芳郎(社会)

一般議事

- ① 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出 をすることを決定。
- ② 所管事務について、閉会中継続調査の申出を することを決定。
- ③ 平成6年度国費予算に関する中央折衝の実施 を決定。
- ④ 商工労働観光部長から、平成5年度商工労働 観光白書の概要について説明。

農政委員会

O10月14日(木) 開議 午後 1 時25分 散会 午後 3 時45分 第 7 委員会室 委員長 神戸 典臣(自民)

一般議事

- 冷害対策等について、山崎正隆委員(自民)、 古川靖晃委員(自民)、明田辰義委員(自民)、 吉野之雄委員(社会)、釣部 勲委員(自民)、 大野新生委員(自民)及び石川十四夫委員(道 政)から、質疑、意見及び要望。
- O11月9日(火) 開議 午後1時30分 散会 午後1時54分 第7委員会室 委員長 神戸 典臣(自民)

一般議事

- ① 農業事情等に関する道外調査の実施を決定。
- ② 農畜産物市場開放阻止に関する中央折衝の実施を決定。

③ 農政部長から、平成6年度以降の転作等目標 面積の緩和について説明。

吉野之雄委員(社会)及び大野新生委員(自 民)から、質疑、意見及び要望

〇11月30日(火) 開議 午前10時40分 散会 午前10時53分 第7委員会室 委員長 神戸 典臣(自民)

一般議事

- 農業事情等に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 農政部長から、平成5年度ホッカイドウ競馬の発売成績等について説明。
- 〇12月10日(金) 開議 午後零時26分 散会 午後零時50分 第7委員会室委員長 神戸 典臣(自民)

付託案件の審査

議案第11号

農用地整備公団営事業に伴う地方公共団体の 負担金に関する件 (原案可決)

一般議事

- ① 平成6年度国の北海道開発予算に関する中央 折衝の実施を決定。
- ② 農政部長から、ガット・ウルグアイ・ラウンド交渉における農業分野の調整案について説明。 青山 章委員(自民)、吉野之雄委員(社会) 及び古川靖晃委員(自民)から、質疑、意見及 び要望。
- ③ 陳情について、今後付託するものを含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出を することを決定。

建設委員会

〇11月9日(火) 開議 午後1時30分 散会 午後1時36分 第4委員会室委員長 綿貫 健輔(自民)

一般議事

- 土木部長から、平成5年度除雪事業計画の概 ③ 水産林務事情に関する道外調査の実施を決定。 要について説明。
- 〇11月30日(火) 開議 午前11時57分 散会 午後零時16分 第4委員会室 委員長 綿貫 健輔(自民)

一般議事

- ① 土木部長から、職員の不祥事について報告。 委員長から指摘
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、第4回定例 会提出予定案件について説明。
- ③ 土木部長及び住宅都市部長から、北海道南西 沖地震に関する被害状況について報告。
- O12月10日(金) 開議 午後零時25分 散会 午後零時31分 第4委員会室 委員長事故のため 副委員長 佐々木隆博(社会)

付託案件の審査

議案第25号

公共下水道事業に伴う地方公共団体の負担金 に関する件 (原案可決)

一般議事

- ① 平成6年度北海道関係国費予算に関する中央 折衝の実施を決定。
- ② 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出 をすることを決定。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出を することを決定。

水産林務委員会

O11月9日(火) 開議 午後1時30分 散会 午後1時40分 第2委員会室 委員長 神本 三也(社会)

一般議事

- ① 水産部長から、北海道南西沖地震に伴う浅海 域漁業資源影響調査結果の概要について説明。
- ② 水産林務事情に関する道内調査及び北海道南 西沖地震災害復旧状況現地調査の実施概要の報

告を了承。

〇11月30日(火) 開議 午前11時10分 散会 午前11時35分 第2委員会室 委員長 神本 三也(社会)

一般議事

① 水産部長から、職員の不祥事に関する事件の 概要及び経過等について説明。

小池 昌委員(社会)から質疑及び意見

- ② 水産部長及び林務部長から、第4回定例会提 出予定案件について説明。
- ③ 水産部長及び林務部長から、北海道南西沖地 震による被害状況について説明。
- O12月10日(金) 開議 午後零時15分 散会 午後零時32分 第2委員会室 委員長 神本 三也(社会)

付託案件の審査

議案第13号

漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金 に関する件 (原案可決)

一般議事

- ① 韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する 意見案の発議を決定。
- ② 水産部長及び林務部長から、平成6年度水産 林務関係国費予算について説明。
- ③ 国費予算等に関する中央折衝の実施を決定。
- ④ 所管事務について閉会中継続調査の申出をす ることを決定。

文 教 委 員 会

O10月27日(水) 開議 午後1時22分 散会 午後1時34分 第10委員会室 委員長 山口 眞人(自民)

一般議事

○ 教育長、企画管理部長及び生涯学習部長から 平成6年度公立高等学校適正配置計画及び公立 特殊教育諸学校配置計画について説明。

○11月9日(火) 開議 午後1時30分 散会 午後1時33分 第10委員会室 委員長 山口 眞人(自民)

一般議事

- 文教事情に関する道内調査の実施概要の報告 を了承。
- ② 「義務教育国庫負担制度の堅持」に関する中 央折衝の実施概要の報告を了承。
- 〇11月30日(火) 開議 午前10時37分 散会 午前10時44分 第10委員会室 委員長 山口 真人(自民)

一般議事

- 教育長及び学事課長から、第4回定例会提出 予定案件について説明。
- O12月10日(金) 開議 午後零時25分 散会 午後零時32分 第10委員会室 委員長事故のため 副委員長 岩井 正明(社会)

付託案件の審査

議案第10号

北海道立学校条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第15号

財産の取得に関する件

(原案可決)

議案第25号

北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条 例の一部を改正する条例案 (原案可決)

一般議事

- 平成6年度北海道関係国費予算に関する中央 折衝の実施を決定。
- ② 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

O11月10日(水) 開議 午前10時46分 散会 午後1時22分 第1委員会室 委員長 平井 進(自民)

- ① 参事監から、新千歳空港24時間運用のテストフライト等について報告。
- ② 地域開発事情に関する道外調査の実施を決定。 〇11月10日(水) 開議 午前10時17分
- ③ 平成6年度北海道開発関係予算に関する中央 折衝の実施を決定。
- ④ 地域開発事情に関する道内調査の実施概要の 報告を了承。
- ⑤ 苫東工業基地の開発について、山口眞人委員 (自民)、久田恭弘委員(自民)及び小野秀夫委 員(民政)から質疑(小野委員の質疑に関して 一部答弁保留。)
- 〇11月30日(火) 開議 午後2時48分 散会 午後3時37分 第1委員会室委員長 平井 進(自民)
- ① 企画振興部長から、第4回定例会提出予定案 件について説明。
- ② 企画振興部長から、北海道新長期総合計画の 推進状況及び道民意向調査結果について報告。 久田恭弘委員(自民)から要望
- ③ 参事監から、新千歳空港24時間運用の千歳市・ 苫小牧市地域への対策について報告。
- ④ 地域開発事情に関する道外調査の実施概要の O11月10日(水) 開議 午前10時15分報告を了承。散会 午前10時22分
- ⑤ 平成6年度北海道開発関係予算に関する中央 折衝の実施概要の報告を了承。
- ⑥ 企画振興部長から、11月10日の小野秀夫委員 (民政) の苫小牧東部大規模工業基地に係る質 疑の保留部分について答弁。

小野秀夫委員(民政)から質疑

〇12月10日(金) 開議 午後1時32分 散会 午後1時35分 第1委員会室委員長 平井 進(自民)

- ① 企画振興部長から、平成6年度国の北海道開発関係予算について説明。
- ② 平成6年度国の北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。

石炭対策特別委員会

O11月10日(水) 開議 午前10時17分 散会 午前10時20分 第5委員会室

委員長 土田 弘(社会)

- ① 産炭地域振興対策に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ② 北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実施を決定。
- ③ 産炭地域六団体連絡協議会による代表者大会 出席及び中央折衝の実施を決定。

O11月30日(火) 開議 午後1時50分 散会 午後1時53分 第5委員会室 委員長 土田 弘(社会)

産炭地域振興対策に関する道外調査の実施概要の報告を了承。

北方領土対策特別委員会

〇11月10日(水) 開議 午前10時15分 散会 午前10時22分 第3委員会室委員長 永井 利幸(白民)

- ① 石田総務庁長官の北方領土視察に関する概要 の報告を了承。
- ② 北方四島交流訪問団の交流事業に関する概要 の報告を了承。
- ③ 北方領土隣接地域の実情調査に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ④ 領対本部長から、「北方領土返還要求のつどい」の概要について説明。

- ⑤ 領対本部長から、北方四島交流受入れ事業に ついて説明。
- 〇11月30日(火)開議 午後1時45分
散会 午後1時47分
第3委員会室
委員長事故のため
副委員長 (軽会)
- ① 平成5年度北方領土返還促進海外使節団に関する行動の実施概要の報告を了承。
- ② 「第25回北方領土返還要求のつどい」の実施 概要の報告を了承。

交通安全対策特別委員会

- O11月10日(水) 開議 午前10時17分 散会 午前10時42分 第2委員会室 委員長 小池 昌(社会)
- ① 生活福祉部長から、交通事故防止対策について報告。
- ② 警察本部交通部長から、10月末における交通 事故概況について報告。
- ③ 岩井正明委員(社会)から質疑 暴走族の実態と取締りの状況について
- O11月30日(火) 開議 午後1時52分 散会 午後1時55分 第2委員会室 委員長 小池 昌(社会)
- 警察本部交通部長から、第4回定例会提出予 定案件について説明。
- O12月10日(金) 開議 午後1時36分 散会 午後1時42分 第2委員会室 委員長 小池 昌(社会)
- ① 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 警察本部交通部長から、平成5年11月末の交通事故概況について報告。

過疎地域振興対策特別委員会

〇11月10日(水) 開議 午前9時49分 散会 午前10時2分 第1委員会室 委員長 髙橋 鉱(公明)

- ① 過疎地域の状況等に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ② 過疎地域の状況等に関する道外調査の実施を 決定。
- ③ 企画振興部地域振興室長から、過疎地域活性 化計画に基づく事業実績について説明。木本由孝委員(自民)から意見及び要望

冷害対策特別委員会

- O11月8日(月) 開議 午後2時46分 散会 午後6時10分 第1委員会室 委員長 中崎 昭一(自民)
- ① 冷害対策に関する中央折衝及び現地調査の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、冷害による農作物の被害状況 について説明。
- ③ 農政部長、総務部長、商工労働観光部長、土木部長、林務部長、生活福祉部長、教育庁企画管理部長及び企画振興部長から、冷害対策の措置状況について説明。
- ④ 酒井芳秀委員(自民)から、
 - (1) 冷害に対する認識
 - (2) 国の冷害対策に対する評価
 - (3) 国の救農対策の内容と評価
 - (4) 救農対策に係る道としての取組内容
 - (5) 関連産業への二次的な影響
 - (6) 冷害に伴う諸対策への取組み
 - (7) 道の独自対策への取組みスケジュール
 - (8) 冷害対策に対する決意

等について

髙橋由紀雄委員(社会)から、

- (1) 冷害対策の推進に当たっての基本的な考え 方
- (2) 特別被害農業者数の見通し
- (3) 特別被害地域指定外の地域における特別被

害農業者数

- (4) コメの中長期の施策
- (5) 農家の経営安定対策
- (6) 共済金等の支払いによる地域経済への波及 効果
- (7) 公共事業の果たす役割
- (8) 冷害に係る被害解析
- (9) 耐冷性品種の開発
- (10) コメの消費者対策

等について

明田辰義委員(自民)から、

- (1) 損害評価の特例措置
- (2) 損害評価の進捗状況
- (3) 損害評価と出荷実績
- (4) 「早期支払い」の「早期」に対する認識
- (5) 共済金の支払い時期
- (6) 道内におけるコメの小売価格
- (7) コメの輸入自由化問題
- (8) 不正規流通米に対する認識と対処方針
- (9) 不正規流通米に対する警察の対応
- (10) 救農対策事業への取組み
- (11) 道独自の対策

等について

工藤啓二委員(公明)から、

- (1) 国の冷害対策における北海道への措置内容
- (2) 中小企業に対する影響と金融対策
- (3) 市町村に対する財政支援
- (4) 道独自の対策

等について

萩原信宏委員(共産)から、

- (1) 冷害に対する基本認識
- (2) 損害評価事務への助成
- (3) 予約概算金の返納に係る特例措置
- (4) 低利な貸付制度の創設
- (5) 農業基盤整備資金の償還対策
- (6) 地域間格差の対応
- (7) 教育費の減免
- (8) 救農土木事業の実施
- (9) コメの消費者対策
- (10) 学校給食用米の状況認識
- (11) 冷害の北海道経済に与える影響
- (12) 関連中小企業等への特別融資
- (13) 食品製造業への影響と資金対策
- (14) 市町村民税の減免

等について、質疑、意見及び要望。

〇11月30日(火) 開議 午後2時3分

散会 午後2時15分

第1委員会室

委員長事故のため

副委員長 吉野 之雄(社会)

- ① 総務部長、農政部長、商工労働観光部長及び 教育庁企画管理部長から、第4回定例会提出予 定案件について説明。
- ② 冷害対策に関する中央折衝の実施を決定。

予算特別委員会

〇12月8日(水) 開議 午後5時13分 散会 午後5時24分 第1委員会室委員長 西本 美嗣(社会)

正副委員長の互選

- ① 委員長に西本美嗣委員(社会)、副委員長に 野呂善市委員(自民)を選出。
- ② 付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、企画振興部、生活福祉部、保健環境部、人事委員会、公安委員会、出納局、監査委員及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工労働観光部、農政部、土木部、住宅都市部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員について、配付の委員名簿の とおり選出。

〇第1分科会委員(15人)

石井 孝一(自民) 川村 正(自民) 井野 厚(社会) 髙橋由紀雄(社会) 大橋 晃(共産) 昌(社会) 小池 吉田 恵悦(公明) 永井 利幸(自民) 和田 敬友(自民) 平井 進(自民) 中川 降之(自民) 敏捷(社会) 森 笠島 保(社会) 大島 一郎(社会) 若狭 靖(自民)

○第2分科会委員(15人)

 板谷
 実(民政)
 明田 辰義(自民)

 山口幸太郎(自民)
 乙川 節郎(公明)

 平出 陽子(社会)
 吉田 栄(社会)

 鰹谷 忠(社会)
 髙橋 文明(自民)

 野呂 善市(自民)
 勝木 省三(自民)

 綿貫 健輔(自民)
 工藤万砂美(自民)

 神本 三也(社会)
 岩崎 守男(社会)

 高木 繁光(自民)

④ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長を

置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに 所属変更については本委員長において行うこと を決定。

- ⑤ 付託案件の審査日程について、配付の日程表 のとおりとすることを決定。
- ⑥ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと。一問一答形式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議の一般質問に準ずることを決定。
- ⑦ 委員外議員発言の取扱いについて、委員の割当てのない諸派の議員から発言の申出があった場合、その都度委員会に諮り決定することとし、発言を許可した場合は委員の質疑終了後に発言することを決定。
- ⑧ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑨ 本委員会の運営に当たり正副委員長及び各分 科会の正副委員長をもって構成する理事会を設 置しその協議により運営すること、正副委員長 の配分のない会派及び諸派についても出席願う ことを決定。

第 1 分 科 会

O12月8日(水) 開議 午後5時26分 散会 午後5時36分 第1委員会室 第1分科委員長

森 敏捷(社会)

正副委員長の互選

- ① 分科委員長に森 敏捷委員(社会)、分科副 委員長に川村 正委員(自民)を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、各1名、計3名の理事を選び、その協議により行うこと、共産党については、オブザーバーとして理事会に出席願うことを決定。理事に、石井孝一委員(自民)、髙橋由紀雄委員(社会)、吉田恵悦委員(公明)を選出。
- ④ 分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。

- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとする ことを決定。
- O12月9日(木) 開議 午前11時15分 閉会 午後4時5分 第1委員会室 第1分科委員長

森 敏捷(社会)

- ① 企画振興部所管に対する質疑に入り、 中川 義雄委員(自民)から、
- 1 北海道産業経済の長期見通しについて
 - 長期不況の要因、現状と将来の見通し
 - 地震災害・冷害等による道内経済の影響
 - 公共事業が北海道経済に占める地位と波及効果
 - 国の公共事業の配分見直しと予算編成方針
 - ・公共事業が5パーセント減少した場合の本道 経済に与える影響
 - 北海道経済における農業の地位と他産業への 波及効果
 - ・ガット・ウルグアイ・ラウンドの調整案が本道 経済に与える影響
 - 影響試算による対応と政策の必要性
- 2 新長計と電力需給について
 - 最近における本道の電力需給の実態
 - 新長計の目標年次の電力需要と実績
 - 新たな原発立地の必要性に関連して本会議での知事答弁の真意

等について

大橋 晃委員(共産)から、

- 1 ふるさと銀河線の経営状況及び今後の見通しについて
 - 「ふるさと銀河線」の収支状況及び今後の経営見通し
 - 第3セクターの維持に係る各自治体の負担
 - ちほく高原鉄道の信号の自動化計画の概要と 自治体の負担
 - 自治体負担に対する道の援助の必要性
 - JRからの出向社員の人件費補助打切りに対 する道の対応
 - 国に対する財政支援制度の延長働きかけの必要性
- 2 札幌・釧路間JR高速化について
 - 高速化事業の概要と第3セクターの概要
 - 第3セクターを設立した理由

- 自治体出資の第3セクターが事業主体として 鉄道整備を行った全国の事例
- ・札幌・函館間高速化のJR単独実施と札幌・ 釧路間を第3セクターで実施する取組み方法 の違い
- 第3セクターへの道の関与と将来見通し
- 地元市町村の出資負担問題への見解
- 第3セクターが民間から借り入れる資金の見 通しと不足した場合の負担
- 大事故や災害が発生した場合の責任
- 3 土地取引の監視区域制度について
 - ・監視区域制度実施の意義とその推移・効果
 - ・監視区域に対する指導の地価抑制効果
 - 制度発足時と比した地価水準への評価
 - 監視区域解除することの景気回復への効果
 - ・監視区域制度見直しに対する慎重な対処方

等について、質疑、意見及び要望があり、企画振興部長、 交通対策課長及び土地水対策課長から答弁があって、公安 委員会、企画振興部及び選挙管理委員会所管に対する質疑 を終結。

(2) 生活福祉部所管に対する質疑に入り、 大橋 晃委員(共産)から、

国民健康保険問題について

- 資格証明書、短期保険証の発行状況
- 公費負担医療の受給者に対する資格証明書の 交付
- 札幌市の事例
- ・難病の短期被保険者証等交付に対する是正
- 資格証明書の予告通知
- 施行令第1条の4の2の規定に対する考え方
- 資格証明書の交付に対する考え方
- ・低所得者に対する交付の実態
- 市町村に対する指導

等について、質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長及 び国民健康保険課長から答弁があって、生活福祉部所管に 対する質疑を終結。

③ 保健環境部所管に対する質疑に入り、 萩原 信宏委員(共産)から、

- 1 フロン回収問題について
 - フロンの回収
 - 越谷市の回収状況
 - 廃棄冷蔵庫の処理見込み
 - 製造メーカーの責任
 - 道のフロンガス対策
- 2 ゴルフ場問題について

- ゴルフ場開発許可数等
- 未着工等の原因
- 栗沢町花園ゴルフ場に対する認識
- 白糠町等の実情
- 未着工等のゴルフ場に対する行政指導
- 3 病院給食と患者指導の問題について
 - 病院給食の医療における役割
 - 病院給食の衛生上の問題
 - 病院給食の自己負担

等について、質疑、意見及び要望があり、保健環境部長、 環境調整課長及び衛生施設課長から答弁があって、保健環 境部所管に対する質疑を終結。

- ④ 総務部所管に対する質疑に入り、萩原 信宏委員(共産)から、
- 1 給与改定問題について
 - 期末手当カットによる影響額
 - ・期末手当の減を含めた本年度の給与改定への 見解
 - 他府県と比し低給与水準である状況での期末 手当削減への見解
- 2 道税について
 - 社会法人等の自動車税、自動車取得税減免の 状況
 - 無認可共同作業所等保有の自動車への課税と 法定上の扱い
 - 他府県での無認可共同作業所の減免、免除の 状況
 - 共同作業所を授産施設に類するとみなすことへの見解
 - 他府県の調査による自動車二税軽減検討への 見解

等について、質疑、意見及び要望があり、総務部長、人事 課長及び税務課長から答弁があって、企業局、人事委員会、 出納局、総務部及び監査委員所管に対する質疑を終結。

⑤ 付託案件に対する分科委員長報告については、 分科委員長に一任することを決定。

第 2 分 科 会

○12月8日(水) 開議 午後5時25分 散会 午後5時35分 第2委員会室 第2分科委員長

明田 辰義(自民)

正副委員長の互選

- ① 分科委員長に明田辰義委員(自民)、分科副 委員長に吉田 栄委員(社会)を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、 民政、各1名、計4名の理事を選び、その協議 により行うことを決定。理事に、山口幸太郎委 員(自民)、平出陽子委員(社会)、乙川節郎委 員(公明)、板谷 実委員(民政)を選出。
- ④ 分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとする ことを決定。

○12月9日(木) 開議 午前11時10分 閉会 午後4時30分 第2委員会室 第2分科委員長 明田 辰義(自民)

① 商工労働観光部所管に対する質疑に入り、上田 茂委員(自民)から、

道内の雇用状況等について

- 完全失業者数及び有効求人倍率の状況並びに 他府県との比較
- 失業者の増加要因
- 離職者の実態
- 雇用調整の実施状況と今後の見通し
- 雇用の安定、確保のための取組み
- 賃金不払いの実態
- 賃金不払い事件の処理
- ・解雇や賃金不払い事件についての道の相談の 現状
- ・電話による相談体制の確立

等について、質疑、意見及び要望があり、商工労働観光部 長から答弁があって、土木部、収用委員会、住宅都市部、 農政部、林務部、水産部、海区漁業調整委員会、連合海区 漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会、商工労働観光部 及び地方労働委員会所管に対する質疑を終結。

— 31 —

- ② 教育委員会所管に対する質疑に入り、 高橋 定敏委員(自民)から、
- 1 コンピューター活用教育について
 - 必要性の認識
 - 取組状況と今後の計画
 - 小中学校におけるコンピューターの普及率
 - 教育用ソフトの整備状況
 - 今後のソフト開発の取組み
 - コンピューター指導教員の配置状況
 - コンピューター指導教員の養成計画
- 2 「いじめ」問題について
 - •「いじめ」の実態
 - 小中学校の「いじめ」対策
 - 特別対策委員会の設置
 - •「いじめ」の要因や動機
 - •「いじめ」と受験
 - •「いじめ」と家庭のしつけ
 - •「いじめ」と学校教育
 - •「いじめ」防止対策
 - 人口問題研究会への参加状況
 - 父母と学校の連絡体制
 - •「いじめ」を防ぐための教育とは

等について

清水 誠一委員(自民)から、

- 1 学校週五日制について
 - 制定の趣旨
 - 一年間の実施状況
 - ・心身障害児理解推進校の学校週五日制の取組 状況
 - 認識と今後の取組み
- 2 特殊教育について
 - 養護学校高等部の平成6年度の応急措置
 - 養護学校高等部の定員増
 - 通学可能生徒の受入れ

等について質疑があり、教育長、生涯学習部長、社会教育 課長、学校教育課長及び学校管理課参事から答弁があって、 教育委員会所管に対する質疑を終結。

③ 付託案件に対する分科委員長報告については、 分科委員長に一任することを決定。

○12月9日(木) 開議 午後5時2分 散会 午後5時19分 第1委員会室 委員長 西本 美嗣(社会)

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における 審査の経過について報告。
- ② 知事に対する総括質疑に入り、 中川 義雄委員(自民)から、

新長期総合計画について

• 新長期総合計画と電力需給について、電源立 地に関する知事の考え方

等について、質疑及び意見があり、知事から答弁があって、 総括質疑を終結。

O12月10日(金) 開議 午前11時55分 閉会 午後零時4分 第1委員会室 委員長 西本 美嗣(社会)

- ① 付託案件に対する意見の調整は、各派代表者 会議において行うことを決定。
- ② 各派代表者会議における意見調整の結果、議 案第1号について意見の一致を見るに至らなか った旨の報告の後、これを問題とし、大橋 晃 委員(共産)から反対討論の後、採決に入り、 起立多数をもって原案のとおり可決することを 決定。
- 3 議案第2号ないし第6号及び第16号ないし第 24号を一括議題とし、原案のとおり可決するこ とを決定。
- ④ 明田辰義委員(自民)から、別紙の附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを諮って動議成立。大橋 晃委員(共産)から反対討論の後、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって本動議のとおり可決することを決定。
- ⑤ 付託案件に対する委員長報告については、委 員長に一任することを決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件の審査終了に当たり、 あいさつがあって閉会。

平成5年提出案件の議決状況

知事提出案件

定例	4 111	Ħ	£ !	出 作	牛 娄	坟			議	決		状	況		
定例 臨時	(1) (V)	条例案	予算	その他の議案	報告	計	原 案 可 決	同意議決	承認議決	認定議決	意見を付し 認 定 議 決	報 告 の み	継続審査	撤回	計
1	定	17	28	10	3(1)	58(1)	55	_	_	_	_	3	(1)	_	58(1)
2	定	9	5	21	35(1)	70(1)	29	5	3	_	_	27	5 (1)	1	70(1)
1	騙	-	1	_	_	1	1	_	_	_	_	_	_	—	1
2	臨	_	3	_	_	3	3			-	_	-	_	_	3
3	定	8	3	30	3(6)	44(6)	38	3	_	(2)	(4)	3	_		44(6)
4	定	10	11	5	4	30	26	_		_	_	3	1	_	30
合	計	44	51	66	45(8)	206(8)	152	8	3	(2)	(4)	33	6 (2)	1	206(8)

注 ()内は、継続審査に係る件数を示し、外数である。

議員提出案件

定例	の別	提	出件	数	議	決 状	況
臨時	.V. 7.01	決議案	意見案	計	原案可決	否 決	計
1	定	1	7	8	7	1	8
2	定	2	3	5	4	1	5
1	臨	_	1	1	1	_	1
3	定	3	7	10	7	3	10
4	定	3	5	8	8	_	8
合計		9	23	32	27	5	32

平成5年請願、陳情の審査状況

定例	المها		語		顧			陳		情		
臨時	りの別	受理件数	採択	議決不要	継続審査	計	受理件数	採択	議決不要	継続審査	計	
1	定	5	3	1	56	60	3	1		9	10	
2	定	3	_	2	57	59	_	_	1	8	9	
3	定	6	_	2	61	63	3	_	_	11	11	
4	定	5	_	_	66	66	4			15	15	
合	計	19	3	. 5			10	1	1			

注 継続審査の件数は、前会から継続審査中のものであって更に継続審査の決定のあったものを含む。 議決不要の件数のうち閉会中処理したものは直近の定例会に含めた。

平成5年議員提出案件の件名及び議決結果一覧

決議案

定例臨時	の別	提出月日	番号	件	名	提	出	者	議決月日	議事結果
1	定	5.3.26	1	金丸脱税事件などの疑惑解明と、抜 を求める決議	本的政治改革 神戸	典臣記	義員ほ	か4人	5.3.26	原案可決
2	定	5.7.1	1	企業・団体献金の禁止、定数の抜本 決議	足正を求める 大橋	晃詞	義員ほ	か1人	5.7.2	否 決
	Æ.	3.7.1	2	政治改革の早期実現を求める決議		忠一記			5.7.2	原案可決
		5.10.5	1	冷害対策特別委員会設置に関する決	議 計川	貴盛詞	義員ほ	か15人	5.10.6	原案可決
3	定	5.10.12	2	高校の間口削減の抑制に関する決議	大橋	晃詞	義員ほ	か1人	5.10.13	否 決
		3.10.12	3	高等学校教育の充実に関する決議	伊達	忠一詞	義員ほ	か4人	5.10.13	原案可決
		5.12.7	1	農畜産物の市場開放阻止に関する決	議 伊達.	忠一詞	義員ほ	か5人	5.12.7	原案可決
4	定	5.12.8	2	父母負担の軽減を図り私学教育の充 議	実を求める決 伊達	忠一詞	義負ほ	か5人	5.12.10	原案可決
		5.12.9	3	道職員の綱紀保持に関する決議	伊達	忠一詞	義員ほ	か5人	5 .12.10	原案可決

意 見 案

定例 臨時の別	提出月日	番号	件 名		提出	者	議決月日	議事結果
	5.3.4	1	酪農・畜産振興施策に関する意見書	大野	新生議員	まか11人	5.3.4	原案可決
	5.3.10	2	北海道新幹線の早期建設に関する意見書		恭弘議員	まか18人	5.3.10	原案可決
		3	消費税の食料品非課税等に関する意見	大橋	晃議員	まか1人	5.3.26	否 決
1 定		4	所得税減税等の大幅実施に関する意見	神戸	典臣議員	まか 4 人	5.3.26	原案可決
	5.3.26	5	国立病院・療養所の改善計画に関する。	意見書 神戸	典臣議員	まか5人	5.3.26	原案可決
		6	児童福祉施設最低基準における保育所(準の改善に関する意見書	、母配置基 工藤	啓二議員	まか13人	5.3.26	原案可決
		7	歯科保険制度の改善を求める意見書	工藤	啓二議員 (まか13人	5.3.26	原案可決
	5.6.18	1	稲作経営の安定に関する意見書	大野	新生議員	まか13人	5 . 6 .21	原案可決
2 定	F 7 9	2	石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興し 見書	上関する意 土田	弘議員	まか14人	5.7.2	原案可決
	5.7.2	3	北方領土問題等の解決促進に関する意見	ē書 永井	利幸議員	まか12人	5.7.2	原案可決
1 臨	5.8.4	1	北海道南西沖地震災害復旧に関する意見	ē書 伊達/	忠一議員	まか 5 人	5.8.4	原案可決
	5.9.22	1	畑作経営の安定に関する意見書	神戸	典臣議員	まか11人	5.9.22	原案可決
3 定	E 10 10	2	小選挙区比例代表並立制の導入に反対	する意見書 大橋	晃議員	まか1人	5.10.13	否 決
	5.10.12	3	消費税の税率引上げに反対する意見書	大橋	晃議員	まか1人	5.10.13	否 決

定例の8 臨時の8	提出月日	番号	件名	提出者	議決月月	議事結果
	5.10.12	4	景気対策として所得税減税等の早期実施を求める 意見書	伊達忠一議員ほか4人	5.10.13	原案可決
3 定	3.10.12	5	「製造物責任法」の早期制定を求める意見書	伊達忠一議員ほか5人	5.10.13	原案可決
J &	5.10.13	6	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	山口眞人議員ほか13人	5.10.13	原案可決
	3.10.13	7	平成 5 年冷害対策に関する意見書	中崎昭一議員ほか26人	5.10.13	原案可決
	5 .12.1	1	地方税財源の確保に関する意見書	畠山 博議員ほか10人	5.12.1	原案可決
	5 .12. 7	2	農畜産物の市場開放阻止に関する意見書	伊達忠一議員ほか5人	5.12.7	原案可決
4 定		3	地方バス生活路線の維持確保に関する意見書	畠山 博議員ほか13人	5.12.10	原案可決
	5 .12.10	4	病院給食の一部負担導入に反対する意見書	乙川節郎議員ほか11人	5 .12.10	原案可決
		5	韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する意見 書	神本三也議員ほか12人	5.12.10	原案可決

平成5年請願、陳情の件名及び審査経過一覧

請願

(継審=継続審査、議不=議決不要)

文書表番 号	件	名	清原	有 者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審査の 経 過
3	私学助成の抜本的拡充と小中 の早期実現を求める件	中高35人以下学級	北海道私学B る会 代表	が成をすす♪ 小野内勝≱	3.6.3	3.6.28	文 教	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
4	馬追山ゴルフ場造成計画に関	関する件	長沼の白然を artist & cra 代表 山田	ftsman の会		3.6.28	総務	间
5	北海道看護職員養成修学資金 求める件	全の貸付枠拡大を	勤医協札幌看 学生自治会 執行委員長		3 . 6 .28	3.7.4	保健環境	同
6	北海道立寿都病院の町移管に	こ反対する件	寿都郡寿都町	J 耳塚 源泊	3 . 6 .28	3.7.4	[ii]	同
7	「北海道分県」の実現を求め	る件	北海道分県抗 北海道分県抗 会長 片山	生進協議会	3 . 6 .28	3.7.4	総務	同
8	子供たちのすこやかな成長と 育の実現を求める件	こゆきとどいた教	新日本婦人 <i>0</i> 部 会長)会北海道本 渡辺 昌于	13 7 5	3.7.8	文 教	同
9	小選挙区制導入に反対する沿	快議を求める件	小選挙区制图 絡会 代表		1 3 7 X	3.7.12	総務	同
11	在宅寝たきり老人介護手当地	角額等を求める件	北海道生活と 会連合会 会長	: 健康を守る 石井 清流	3.7.8	3.7.12	生活福祉	[6]
13	国庫負担率の復元を求める意 海道の福祉施策の拡充を求め		全国福祉保育 海道地方本音 執行委員長	ű	3 . 7 .11	3.7.16	[計]	įπ
16	小選挙区制の導入に反対する 求める件	る意見書の採択を	北海道高等学中央執行委員 相場			3.7.22	総務	同

文書表番 号	件	名	請	瀬 者		受 年月	理日	付年	託月日	付委員	託会	審査の 経 過
17	馬追丘陵におけるゴル 件	フ場造成計画に関する	サツラク農業組合長理事	業共同組 黒澤信		3.7	.26	3.	9.25	総	務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
18	精神障害者の社会復帰 求める件	及び福祉施策の充実を	北海道精神區 合会 会長		族連重行	3.8	.30	3.	9.25	保健理	景境	1 定採択 (但し第2 項及び第3 項は採択済)
19	李恩恵拉致事件の真相 める意見書提出に関す		札幌市北区 工藤正:	太郎 外	30人	3.9	.24	3 .	10.1	総	務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
22	18歳到達による児童扶 する支給延長制度に関		札幌市厚別		玲子	3.10).8	3.	10.11	生活社	畐祉	间
23	6 歳未満児の歯科治療 る件	費に対する助成を求め	「子どもの族 実行委員会 代表	- · · · -	札幌和人	3.10). 9	3.	10.18	保健理	環境	卣
24	岩見沢の高校間口削減 た教育を求める件	に反対し、ゆきとどい	岩見沢の高橋 反対する父母 代表			3.10). 9	3.	10.18	文	教	同
25	ゆたかな高校教育を保 減に反対し、40人以下		ゆたかな高橋 す西胆振の3 代表		めざ 勲	3.10	.14	3.	10.18	同		同
26	道立高等学校入学検定 対する件	料、入学料値上げに反	全北海道教 代表		勝行	3.10).15	3.	10.18	文	教	同
27	足寄高校の4学級維持 期実現を求める件	と、35人以下学級の早	北海道高等 合連合会足 書記長	寄高校分		3.10).15	3.	10.18	同		同
28	滝川西高等学校の間口 下学級の実現を求める		北海道高等 合北空知支 分会 分会	祁滝川西	高校	3.10	.15	3.	10.18	[5]		同
29	江差高校、熊石高校、 に反対する件	上ノ国高校の間口削減	ゆきとどいた る熊石連絡会 学校教職員組 会 分会長	· 北海道 合熊石高	高等	3.10	. 15	3.	10.18	[百]		[司]
30	函館中部・工業・商業 の間口削減、函館西高 対する件		1	道南の会 高田	敞充	3.10).15	3.	10.18	同		同
32	網走第四学区の高校間 級の早期実現を求める		北海道高等 合紋別支部 支部長	萩原	負組 政明 1人	3.10).15	3.	10.18	[6]	:	同
33	道立高等学校入学検定 対する件	料、入学料値上げに反	北海道高等合 中央執行			3.10).15	3.	10.18	同		同
34	函館東高校の間口削減	に反対する件	北海道高等 合函館支部 会 分会長	函館東高		3.10).15	3.	10.18	亩		同
35	八雲高等学校(普通科 る件)の間口削減に反対す	北海道高等 合八雲高校 分会長	分会	員組 亨二	3.10).15	3.	10.18	同		同
36	高等学校40人学級の早	期実施を求める件	北海道高等:	-	- 1	3.10).16	3 .	10.19	[a]		同
37	ゆたかな私学教育の実	現を求める件	連合北海道 会長 兼古	哲郎 タ	小4人	3.12	2.10	3.	12.13	同		同
38	旭川工業高等学校に設 る件	備工業科の設置を求め	旭川工業高 設置促進期 会長	戊会	業科 権作	3.12	2.10	3.	12.16	同		同

文書表番 号	件	名	請	願 者	í	受 理 年月日	付 託年月日	付 託 委員会	審査の 経 過
39	小中高35人以下学級の 抜本的拡充を求める件	早期実現と私学助成の	札幌市南区	田中		3.12.13	3 .12.18	文 教	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
40	道内公立高校40人学級 求める件	の主要都市への実施を	日本婦人会 議長	議北海:藤枝		3.12.16	3.12.18	同	同
41	保育・学童保育制度の を求める件	拡充、助成制度の新設	北海道保育 会長			3.12.18	3.12.21	生活福祉	同
42	Ē	ij		同		3.12.18	3.12.21	保健環境	同
44	在職老齢厚生年金の支	給率の改善を求める件	網走年金組 執行委員長		富雄	4.2.24	4.3.2	生活福祉	同
45	福島町立浦和小学校へ を求める件	の早期水道設置の指導	福島町浦和土門	忠紀	外1人	4.2.27	4.3.6	文 教	同
48	92年度道予算における 関する件	公共料金引上げ反対に	北海道92国 員会 代表			4.3.5	4.3.9	同	1 定継審 2 定継審 3 定議不
49	平取養護学校に高等部	の併設を求める件	平取障害児 を進める会 代表	「春風	1	4.3.10	4.3.12	同	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
50	従軍慰安婦問題等日本 めに資料公開、謝罪・	の戦後責任をはたすた 補償を求める件	朝鮮女性と 道の会 会	長 荒野		4.3.3	4.3.18	生活福祉	同
51	高等養護学校設置を求	める件	道立釧路高 置促進期成 会長			4 . 6 .15	4 . 6 .22	文 教	同
52	第6次(高校第5次) 定を求める件	教職員定数法の早期制	北海道教職 中央執行委		雅裕	4.6.16	4 . 6 .22	[百]	同
53	義務教育諸学校事務職 国庫負担法堅持を求め	員・栄養職員給与費の る件		同	·	4.6.16	4 . 6 .22	同	1定議不
54		者の完全週休2日制な 的改正を求める意見書	北海道労働 議長	組合総	1	4 . 6 .16	4 . 6 .22	商工労働 税 光	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
55	道職員の完全週休2日	制実施を求める件		同		4.6.16	4 . 6 .22	総務	同
57	. 1	ਜ਼ <u>ੀ</u>		同		4.6.16	4 . 6 .22	文 教	同
58	道立高等養護学校設置	を求める件	根室管内道 校設置促進 会長 中標	期成会	養護学 松吉	4.6.24	4 . 6 . 26	同	1定採択
60	自衛隊のカンボジア派	兵反対に関する件	自衛隊の海 する北海道 代表	連絡会	を阻止 康夫	4.9.22	4.9.28	総務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
61	公立高校の入学定員削	滅反対を求める件	苫小牧市美 代表	園町3-1 佐藤		4.10.8	4 .10.13	文 教	1 定継審 2 定継審 3 定議不
62	労働省の職業安定県機関、 労働基準監督署、公共職業 大幅増員要請についての	安定所等労働行政機関の	全労働省労 支部 執行委員長			4 .10.22	4 .12. 1	商工労働 親 光	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審

文書表番 号	件	名	請願者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託委員会	審査の 経 過
63	保険で「良い入れ歯」 う改善を求める件	の医療が受けられるよ	北海道民主医療機関連合 会 会長 森谷 尚行 (外1件)	4.12.3	4.12.7	生活福祉	1 定継審 2 定議不
64	町立病院・国保病院の 度改善に関する議会決	老人病院化に反対し制 議を求める件	北海道民主医療機関連合 会 会長 森谷 尚行	4.12.3	4 .12. 7	保健環境	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
65	小中高35人以下学級の 抜本的拡充を求める件	早期実現と私学助成の	ゆきとどいた教育をすす める北海道連絡会 会長 田中 一(外1件)	4.12.4	4.12.8	文 教	[6]
66	保育所「最低基準」の る意見書提出に関する		北海道保育所団体連絡会 会長 堀岡 英機	4 .12. 7	4 .12.10	生活福祉	1定採択
67	道内中小業者の経営と 件	生活危機打開に関する	北海道商工団体連合会 会長 星 三男	4.12.8	4.12.10	商工労働	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
68	道内中小業者の経営安 に対する意見書の採択	定緊急対策のため政府 に関する件	[ii]	4.12.8	4.12.10	[tī]	[13]
69	ゆたかな私学教育実現 充を求める件	し のために私学助成の拡	連合北海道 会長 兼古 哲郎 外4人	4.12.9	4 .12.14	文 教	[ii]
70	転圧コンクリート舗装 工の実施を求める件	(RCCP) の試験施	北海道生コンクリート工 業組合 理事長 川城 誠 外1人	4.12.18	5.2.23	建 設	[11]
71	障害児の高等部希望者	全入を求める件	障害児の高等部希望者全人 を考える十勝の会(ヒュー マンボイス十勝の会) 代表 鈴木 幸雄	5.1.28	5.2.23	文 教	同
72		護・介護分野での「家 家政婦紹介所」の積極	社団法人日本臨床看護家 政協会北海道支部 支部長 松浦 晴子	5.2.2	5.2.23	生活福祉	同
73	最低保障年金制度の創 見書提出に関する件	設等を求める国への意	全日本年金者組合北海道 本部 執行委員長 鈴木 好	5.3.16	5.3.18	同	[6]
74	保険で「良い入れ歯」 う改善を求める件	の医療が受けられるよ	北海道母親大会連絡会 実行委員長 池田 米子(外10件)	5.3.23	5.3.26	[6]	1 定継審 2 定議不
75		「巴沢、美幌町、津別町 場造成計画の中止を求	ゴルフ場問題を考える網 走の会 会長 武田 章	5.6.24	5 . 6 .28	総務	2 定継審 3 定継審 4 定継審
76	児童福祉法に基づく保 意見書の提出に関する	発育制度の拡充を求める 件	憲法・児童福祉法を守り保 育の公的保障の拡充を求め る運動北海道実行委員会 代表 島崎 正幸	5.6.25	5.6.28	生活福祉	同
77	年金制度の改善を求め 関する件	る国への意見書提出に	全日本年金者組合北海道 地方本部 代表 鈴木 好 外17名	5.7.1	5.7.2	[ii]	[5]
78	大型店舗に隣接する生 区域の指定を求める件	:活道路の路上駐車禁止 :	小樽市入船5丁川9番18号 代表 村田三七郎 外9人	5.8.19	5.9.22	交通安全 対策特別	3 定継審 4 定継審
79	道立高校の入学金・入 対する件	学検定料の値上げに反	北海道高等学校教職員組合 中央執行委員長 八木 靖彦(外91件)	5.9.24	5.10.1	文 教	[ii]
80	乳幼児医療費無料化の)年齢引上げを求める件	新日本婦人の会北海道本 部 代表 渡辺 昌子	5.9.28	5 .10. 1	保健環境	间
81	義務教育諸学校事務職 国庫負担法堅持を求め	裁員・栄養職員給与費の)る件	北海道教職員組合中央執 行委員長 若月 雅裕	5.9.30	5.10.5	文 教	[17]

文書表 番 号	件 名	請願者	受 理 年月日	付 託年月日	付 託委員会	審査の 経 過
82	滝川北高校の「条件付学級削減」案を撤回し 間口維持を求める件	北海道滝川北高等学校 P T A 会長 山木 昇 外 1 人	5.10.5	5.10.13	文 教	3 定継審 4 定継審
83	滝川高等学校及び空知第2学区の高等学校の 学級数の現状維持を求める件	北海道滝川高等学校 職員代表 丹保 直喜	5.10.6	5.10.13	同	同
84	アイヌ墓地改葬事業の見直しを求める件	札幌市白石区北郷 4 条 4 丁月1-1-27 小川 早苗	5.10.15	5.12.1	生活福祉	4 定継審
85	北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校改 築整備を求める件	静内町手をつなぐ親の会 代表 持田 博子	5.11.9	5.12.1	文 教	同
86	義務教育費の国庫負担制度堅持、私学助成制 度拡充など教育予算増額と父母負担の軽減を 求める件		5 .12. 3	5 .12. 8	同	同
87	ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に 関する件	連合北海道 会長 兼古 哲郎 外4人	5 .12. 6	5 .12. 8	同	同
88	小中高35人以下学級と私学助成の抜本的拡充 を求める件	ゆきとどいた教育をすす める北海道連絡会 会長 田中 一 外1人	5 .12. 7	5 .12. 8	同	同

文書表 番 号	件	名	陳情	者		受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審査の 経 過
3	産業廃棄物の不適正知 る件	<u>ル理への指導強化を求め</u>	広島町・西の 守る会 代表			3 . 6 .21	3 . 6 .28	保健環境	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
4	北海道の気象事業整備	帯・拡充を求める件	全気象労働組 方本部 執行委員長		#道地 孝敏	3.7.15	3 . 7 .22	総務	同
6	千歳市のゴルフ場新記	设計画に関する件	千歳の自然保 会長		浩	3.7.30	3.9.25	同	同
7	模開発を全面凍結し、	易造成等による森林の大規 国の天然記念物クマゲラの 地調査の実施を求める件	日本野鳥の会	会員	修平	3.8.5	3.9.25	文 教	同
9	精神障害者社会復帰が を求める件	施設の設置者負担の解消	北海道精神障 帰施設協議会 代表 岸本	(準備	前会)	3 .10 . 1	3.10.7	保健環境	1 定採択
12	公海流し網漁業の禁1 を求める件	上に伴う関連産業の救済	函館地方漁網 議会 会長			4.2.28	4.3.18	商工労働 親 光	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
13	公海流し網漁業の禁止 を求める件	上に伴う関連産業の救済	[i	ij		4.2.28	4.3.18	水産林務	1定継審2定議不
15	痴呆性老人在宅介護。	手当を求める件	北海道の高齢 くする女性の 会長	会		5 . 2 .22	5.3.2	生活福祉	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
16	大型店舗の出店に伴っ 対策の充実を求める作	う交通安全及び環境保全 #	小樽市桜ヶ丘 会長			5.2.22	5.3.2	保健環境	同
17		间	ļĒ	<u>.</u>		5 . 2 .22	5.3.2	交通安全 対策特別	同
18	国の「障害者対策に関し国への意見書提出を	関する新長期計画」に関 を求める件	障害者の生活 る北海道連絡 会長	協議会	È	5.9.17	5 . 9 .22	生活福祉	3定継審4定継審
19		希望者の全員入学の保障 妾助成の増額を求める件	苫小牧公立高 すめる会 代表		没をす 弘毅	5.10.7	5 .10.13	文 教	同
20	小樽工業高等学校の 求める件	学級削減案の白紙撤回を	北海道小樽工 PTA 会長		等学校 靖洲	5.10.12	5.10.13	固	同
21	静内町に高等養護学材	交の新設を求める件	静内町手をつ 代表			5.11.9	5.12.1	同	超
22	不用犬・不用猫を減ら	すための施策に関する件	北海道動物保 会長	表 接協会 平井百		5.11.8	5.12.1	保健環境	[ਜ]
23	地域共同作業所に対っ施設の整備促進に関っ	する補助金の増額と授産 する件	共同作業所全 海道支部 支部長		A会北 則明	5.11.16	5.12.1	生活福祉	[ਜ]
24	道営競馬札幌場外馬券 スキノ地区)への開調	*発売場の札幌都心部(ス 受推進に関する件	北海道道営競 会長	_ , ,,,,		5.11.19	5 .12.1	農政	同

11 月 の メ モ

- 1日 〇戦後最大の倒産 中堅ゼネコンの村本建 設(奈良県、資本金24億円)が奈良地裁 葛城支部に会社更生法の適用を申請、倒 産した。負債総額は5900億円で、85年に 倒産した三光汽船を上回る過去最高規模。
- 5日 〇聴覚障害者が初めて教員合格 道教委が 発表した来年度の公立学校教員採用試験 の合格者で、道の特殊学校教員に本道で は初めて聴覚障害の女性(22)が合格。 中学校と高校の教員に、韓国籍の男性 2 人も初めて合格した。
- 9日 〇消費者麦価引き下げ 本年産のコメと麦 の政府売り渡し価格 (消費者米・麦価) を審議していた米価審議会は、米価の 2 年連続据え置きと麦価の10.4%引き下げ は円高差益を還元するもので、87年の8.7 %を上回る過去最大の下げ幅。
- 10日 〇土現部長を逮捕 道警捜査二課と札幌北 署は、公共工事の資材納入に絡んで業者 から格安のゴルフ会員権を譲り受けてい たとして収賄容疑で旭川土現技術部長の 立野慎一容疑者 (51) を逮捕。
- 17日 〇北ガス、料金下げ発表 円高差益還元の ためガス料金を平均1.4%下げることを 正式に決めた。94年1月から9月までの 暫定値下げで標準的4人家族の場合、月 約60円の下げとなる。
- 29日 〇道が新千歳24時間運用で対策提示 新千歳空港の24時間運用に向け、道は千歳市の地域協議会で空港周辺住民に総額220億円の騒音対策を提示した。内訳は住宅防音対策150億円、地域対策振興対策に70億円。
- 30日 **○第2次補正予算案提出** 政府は緊急経済 対策や冷害対策を盛り込み、予算規模を 6月の第1次補正より7087億円増額した 第2次補正予算案を閣議決定し、国会に 提出した。

12 月 の メ モ

- 1日 ●第4回定例道議会開会
 - ○益田喜頓さんが死去 函館出身の俳優、 益田喜頓さんが大腸がんのため函館市内 の病院で亡くなった。84歳だった。喜劇 からミュージカルまで幅広い芸で親しまれ、平成2年に函館市栄營賞を受けた。
- 6日 〇カブトデコム社長を逮捕 額面総額 101 億円の手形を偽造されたとして、拓銀傘 下企業 2 社が告訴していた事件で、札幌 地検はこのうち64億円の手形について有 価証券偽造・同行使の疑いで、建設不動 産会社「カブトデコム」(本社・札幌市中 央区) 社長佐藤茂容疑者を逮捕した。
- 10日 ●第4回定例道議会閉会
- 14日 〇コメ部分開放を決定 政府は新多角的貿易交渉(ウルグアイ・ラウンド)でのコメ市場の部分開放を含むドニ市場参入担当議長調整案の受け入れを正式決定した。 細川首相は「断腸の思い」として国民の理解と協力を求めた。
- 12日 〇ロシア新連邦議会選挙で極右政党躍進 ロシア新連邦議会選挙と新憲法国民投票 は12日行われ、大統領権限を強化する新 憲法が賛成多数で採択されたが、極右・ 自民党が大躍進、共産党も健闘した。
- 16日 〇田中角栄元首相死去 日中国交正常化の 功績を挙げる一方、ロッキード事件で逮 捕された田中角栄元首相が、甲状腺(せ ん)機能障害に肺炎を併発、入院先の東 京・慶応大学病院で死去した。75歳。
- 20日 〇安保理常任理事国入り支持 国連のガリ 事務総長は細川首相との会談などで日本 の安保理常任理事国入り支持を表明した。 また羽田外相と会談し、旧ユーゴの平和 維持活動 (PKO)への人的貢献を要請。 外相は政府調査団派遣の方針を表明した。

編 集 北海道議会事務局調査課 発 行 北海道議会事務局